

1. 件名：新規基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【191】
2. 日時：令和4年6月3日 13時30分～16時20分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、齋藤企画調査官、江寄企画調査官、義崎管理官補佐、皆川主任安全審査官、大野主任安全審査官、千明主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、植木主任安全審査官、三浦主任安全審査官、岩崎安全審査官、藤川安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、伊藤原子力規制専門員、谷口技術参与、山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

小林技術研究調査官、大橋技術研究調査官、森谷技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 部長（電源土木） 他5名

電源事業本部 部長（電源建築） 他24名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 主任※

電源開発株式会社

原子力技術部 安全総括室 課長代理※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁ミナカワです。それでは島根原子力発電所 2 号機のヒアリングを始めたいと思います。それでは事業者から説明を開始してください。
0:00:16	中国電力の内藤です。
0:00:19	まず資料確認から行わせていただきます。
0:00:23	資料は全部で 11 個になります。
0:00:27	①として、N-S に他 005 回 06、
0:00:33	②として N-S に他 053 回 05、
0:00:39	③として N-S に他 05408。
0:00:45	④として N-S に他 055 回 04。
0:00:52	⑤として N-S2 オカ 086 回 03。
0:00:59	⑥として N-S にホが 10903。
0:01:06	⑦として N-S に他 073 回 02。
0:01:12	⑧として N-S2 他 014 回 03。
0:01:18	⑨として N-S に他 003 回 07。
0:01:23	10 として、N-S に他 067 回 04。
0:01:29	11 として N-S に他 071 回 04。
0:01:33	になります。
0:01:35	資料はすべて 5 月 31 日提出。
0:01:39	済みのものになります。資料はおそろいでしょうか。
0:01:43	はい大丈夫です。
0:01:47	中国電力の内藤です。それでは本日の進め方についてご説明させていただきます。
0:01:53	まず、プラント記念関係のご説明としまして、②③④
0:01:59	と⑩、⑪の資料をもちましてご説明させていただきます。
0:02:05	こちら、
0:02:06	数プラント記念関係で 3 件ございますので、1 件ずつご説明させていただいてそのうち質疑を行わせさせていただければと思っております。
0:02:17	その次に、
0:02:19	丸資料の⑦⑧⑨を持ちまして、補正の対応状況とスケジュール関係についてご説明させていただきます。
0:02:28	そのうち質疑を挟んだ後に、
0:02:30	⑥、
0:02:32	⑤、⑩、⑪、
0:02:36	あと建物、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:37	をもちまして建物、
0:02:40	アンケート、翌週関係の元関係の説明を行わせていただきます。
0:02:45	あと建物、付着力に関しまして①の、
0:02:48	資料についても変更がございますのでそちらについても説明いたします。
0:02:53	進め方はこれでよろしいでしょうか。
0:02:57	はい。それをお願いします。
0:03:01	中国電力の内藤です。
0:03:03	それでは、まず最初に、ブローアウトパネル閉止装置の説明を行わせて、させていただきます。ここで説明者変わります。
0:03:11	中国電力の中島です。それでは②の資料のブローアウトパネル関連設備の設計方針の回答整理表で通しページの8ページからお願いします。
0:03:28	ナンバー66のご指摘に対する回答からになります。ご指摘としては、
0:03:34	図5-1のダンパの概要図のうち、パッキンの長さについて、実際の設備と整合するような図となるよう検討すること。
0:03:42	というご指摘に対して、
0:03:45	①の資料、
0:03:48	の通しページで322ページ。
0:03:51	をお願いします。
0:03:59	図5-1につきまして、中間
0:04:03	200、322ページの間にある概要図。
0:04:06	赤色で示して、
0:04:08	いるパッキンが当初少しちょっと、
0:04:11	大きく期待をされていたので、実態に合わせたような、
0:04:15	長さに適正化をいたしました。またパッキンの周りの概要図ということで、A部の拡大図を追加しております。この内容については、パワーポイント資料、⑩、
0:04:28	この資料の右上の25ページ。
0:04:31	にも反映しております。
0:04:35	続いて②の資料に戻りまして回答するように戻りまして、通しの8ページの
0:04:41	ナンバー67のご指摘です。7ポツ、
0:04:45	この文章中に、表7の耐震、地震耐性を踏まえたオペフロPOPと、
0:04:52	MSオオノSPOPへの閉止装置設置の要否について、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:56	記載の追加を検討すること。
0:04:59	というご指摘でして添付資料の本文の記載と整合するように、整合を図るようというご指示でした。補足説明資料で、⑪の資料の通しページ 268 ページをお願いします。
0:05:16	こちらの 7 ポツ、
0:05:17	ブローアウトパネル閉止装置の要否、
0:05:20	という項目に、添付資料の本文との記載と同様に、MST-SBOPにはプロファイル閉装置を設置しない理由を追記しております。
0:05:30	続きまして②の資料回答整理表に戻りまして、
0:05:34	通して 9 ページ。
0:05:36	になります。
0:05:37	ナンバー 68 のご指摘です。
0:05:40	表等について、設置許可からの引用元を追記するか、
0:05:45	もしくは、表中の全炉心損傷頻度の数値の出典元の記載の追加を検討すること。
0:05:52	というご指摘です⑪の資料の通しページで 270 ページ。
0:05:58	お願いします。
0:06:02	ご指摘いただいた表がこちらの表になりますけども、中期日程全炉心損傷頻度の数値、
0:06:09	その出典元として、設置許可審査時の資料及び今回の設工認の補足説明資料内での記載を求め、
0:06:17	注記で追記しております。
0:06:20	②の資料に戻りまして、続いてナンバー、
0:06:24	72
0:06:26	のご指摘です。
0:06:28	表 1 の通気量について、前回資料から拡充した箇所がわかるような記載を検討すること。
0:06:34	というご指摘です。こちらパワーポイント資料へのご指摘でして、
0:06:38	⑩の資料の右上、26 ページをお願いします。
0:06:47	表 1 が神保の機密性の時間という表の中で、
0:06:51	通気量、
0:06:52	Aの欄が別がありますけども、こちらの記載してる値について注記 4、
0:06:59	を追加しまして第 1036 回審査会合時点の資料で示していた代表の値と、その後、拡充した値、
0:07:08	差別化をしております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:12	プローアウトパネル閉鎖措置に関するご指摘に対する回答は以上となります。
0:07:23	はい、説明ありがとうございます。それでは今の説明で確認等あればお願いします。
0:07:41	規制庁植木です。
0:07:44	今説明いただいた資料の 11 番。
0:07:49	の、
0:07:52	200、268 ページ。
0:07:56	なんですけど、
0:08:00	これに関しては、今回の会合での論点と直接関係ないところの資料の
0:08:08	わかりやすさの観点から、前回ちょっと指摘させていただいたところなんですけど、
0:08:16	7 ポツのですね、黄色ハッチング、
0:08:21	したところで、オペフロボTはSD。
0:08:25	で、
0:08:26	開放の可能性があるので早朝設置すると、で、
0:08:30	一方N-SとんねるずBOPについてはSSで開放しない設計とするためという、これを、
0:08:40	追加してもらったんですけど、
0:08:44	ちょっと文章だけ見ていると
0:08:49	MSTンネル 1BOP。
0:08:52	に関してなんですけど、これは、
0:08:55	前の 267 ページの(2)の、
0:09:00	二次格納施設のバウンダリ機能ってところで、最後、
0:09:05	のところの記載で、
0:09:10	長期にわたる事象がけつ失速した場合も考慮し、SDで開放しない設計とすると。
0:09:17	ということで、ここは、
0:09:20	要求事項ということでオペフロボTと同じようにSD。
0:09:26	で開放しない設計とするというふうに書いてあって、
0:09:31	藤本間。
0:09:34	269 ページの表でですね表 6 のところで、
0:09:42	MSとなるSBOPの、
0:09:45	SAの 50 条のところですかマルがあって、
0:09:49	括弧SDのところに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:52	注記の 1 というところでここで、
0:09:58	要求としては、SDなんだけれども、一応、設計として、
0:10:05	SSで、ページ可能な設計とするという、ここ、ここで、この表で、
0:10:13	明記されていてそれを呼び込ん呼び込む形で 268 ページの 7 ポツというの、
0:10:23	N-SオオノSBOPはSsという。
0:10:27	ふうなそういう構成だと思うんですけど、ただ、ちょっとこの 267268 の文章だけ読んでいくとですね、
0:10:39	7 ポツで、MSTンネル数について、
0:10:45	前のページでSDで開放しないせ、
0:10:49	設計とすると言っているながら、ここに来て急に
0:10:53	SSでは開放しない設計とするためっていうふうになっっていて、表までよ。
0:10:59	呼び込んでいかないとこのところがちょっと唐突にSsっていうのが出てくるのでちょっとわかりづらいなというふうになっっています。それで、
0:11:10	268 ページ、この黄色ハッチングの、
0:11:16	文章のところですねMACEtの内数のSSで開放しない設計とするというところに関して、もう少しちょっと補足。
0:11:27	してですね要求自己要求、
0:11:32	としてはSDなんだけれど、
0:11:37	先ほど 269 ページの注 1 にあるようなことで、SSで、
0:11:45	平時可能な設計をする。
0:11:47	ためという。このところをちょっと、表にある、
0:11:52	注 1 の内容を簡単にもう少し加えて、
0:11:57	テロ分mstンネルSBOPがSSであるということをもう少し、
0:12:03	追記する等、よりわかりやすいのかなと思ったんですけど、いかがでしょうか。
0:12:11	中部電力の中嶋です。今関さん、ご出席いただいたのは記載順として 4 ポツ、失礼しました。3 ポツのMSとなるす。
0:12:20	プロアートパネル要求事項から順に読んでい。
0:12:23	今さっきちょっと認識、
0:12:26	ちょっと私の方の認識がどうか、今説明するところなんですけれども、今現状のこの資料構成としては 6 ポツ、
0:12:34	あくまで要求事項の整理までは 6 ポツで、6 表 6 に飛ばして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:38	記載をしているところです。今今回追記したのを7ポツについてはそれを踏まえた上で実際の設計としてフラットパネル設置装置、
0:12:47	が必要かどうかというところを整理したものでこちらの黄色記載黄色のハッチング、268 ページテルイ黄色ハッチングの記載は表7と関連づけている。
0:12:57	の認識です。こちらの表7としましてはMSブローアートパネルの方、
0:13:04	ようになりますけども自然現象の地震の箇所でSs機能維持のため開放しないと。
0:13:09	というような記載をしておりますが、
0:13:13	これに加えてさらに6表6としても、
0:13:17	同様に、
0:13:19	要求事項、
0:13:21	としてはSDまでの機能維持であるが、閉止装置Ss機能維持、
0:13:27	自体をできるために、
0:13:29	イソダ不要であるというような記載を、6ポツのブローアウトパネル関連設備の要求機能という項目にも記載していて、
0:13:36	いくという、
0:13:37	行くべきではというご指摘でしょうか。
0:13:42	規制庁植木です6、今おっしゃったように6ポツまでは、要求、
0:13:49	要求事項、
0:13:51	ということなので、ここに書くというよりは、
0:13:56	ここと設計の繋がり、設計とは、
0:14:00	違うっていうか、設計はSsに上げてるっていうのは、
0:14:07	項目としてはないので、5、
0:14:10	比較としては7ポツのところしか今書くところがないのかなと思ったんですけど要はんと7ポツで初めて、SSで開放しない設計とする。
0:14:21	ためっていうのが出てくるので、
0:14:24	7ポツであれば設計要求に対して設計、
0:14:32	説明上げてるっていうことが、7ポツであれば×書いてもおかしくないのかなと思ったんですけど。
0:14:44	規制庁のすいません今の点で私もちょっとおかしいなと思ってたんですけども、
0:14:51	6ポツまでは要求事項が書いてあるというご説明だったんですけども、実際6ポツまで見てみると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:58	要求事項だけじゃなくて、それを踏まえてこういう設計をするっていう記述が、
0:15:03	所々にあるん。
0:15:05	ですよね。
0:15:07	なので
0:15:09	例えば、
0:15:11	オペフロBOPの、
0:15:14	何ポツですか、2ポツの中を見ると、
0:15:17	設計とするっていう記述もたくさんありますし、
0:15:21	それと見比べる等、
0:15:25	3ポツの括弧2が、
0:15:29	オペフロBOPでは、こういう要求ですに対してこういう設計、
0:15:34	というふうにしっかり書いてあるのを見比べると、
0:15:38	AMSBOPの3ポツの(2)は、
0:15:41	要求事項しか書いていなくて、
0:15:45	なおかつ、各
0:15:47	3ポツ(2)の文末を見ると、
0:15:49	設計とする設計とする必要があるであれば要求事項であると、要求事項が書いてあるのかなと思うんですけども、設計とすると書いてある。
0:15:59	ということからすると、
0:16:02	その
0:16:03	1ポツか6%IIまでが要求事項であるかを見るとそうではないように見えますし、
0:16:09	そういうふうに見ると、
0:16:13	3ポツ(2)。
0:16:16	の、そのPOP。
0:16:18	いいんじゃないの、3ポツ(2)の、
0:16:22	SDで開放しない設計とするという記述と、7ポツのSs-Dは開放しない設計とするというのが、相反することが書かれてるように見えます。
0:16:34	いう指摘だと私は理解しています。
0:16:36	いかがでしょうか。
0:16:39	中央電力のナカシマですはい。ご指摘理解しました現状この4-1の資料ですけどあくまでその要求機能について整理して、
0:16:47	いる資料。
0:16:49	でありますので現状設計とするというような文末。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:52	記載が多々ありますけどもそちらを実際に即した必要に応じて設計とする必要があるなどというような記載に、見直していこうと思います。それ、その上で、先ほど今ご指摘いただいております。
0:17:06	要求事項を踏まえての自治体の設計施設とすることについての内容についてちょっと今回この資料の中には、ないんですけどもグラウトパネル閉止装置、
0:17:16	失礼しましたブローN-Sとんねるずフロアートパネルの設計についての資料も4-2。
0:17:21	補足説明資料、
0:17:23	というのがありましてそちらに記載はしているんですけどもそちらを呼び込むか、もしくは、要点をかいつまんでかいつまんで、追記を検討しようと思います。以上です。
0:17:37	規制庁齋藤です要求事項オダ形の記述に直すということなんですけども、そうすると今の2ポツだとか3ポツの中にもその設計とするという記述が全部あるので、
0:17:48	これも全部落とすということであれば
0:17:53	資料4-1全体設計について書かずに、要求事項だけ書きますってことだと大分修正が入ると思いますけども、
0:18:01	そういう費用にするというご判断でもいいですし、
0:18:04	要求事項と書いてありながらも設計とするっていうのが今あちこちにあるので、
0:18:10	それはなので、
0:18:12	3ポツ(2)も、
0:18:14	設計、
0:18:15	とするという記述は他の3、2ポツだとかと同じように書くっていう判断もあるのかなと思いますけどもそこは、
0:18:23	資料全体、おかしくないように修正をお願いします。
0:18:27	中部電力の中嶋です。了解しました。一部ちょっと訂正ですけども現状の記載をどんどん落としていくというつもりではなくてですね適した表現に修正をいたしました内容としてどんどん落としていくというような、
0:18:40	考えはございませんので適切に修正いたします以上です。
0:18:50	規制庁植木です。
0:18:53	次にですね270ページのところで、表7、
0:18:59	ですね
0:19:01	黄色ハッチング、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:07	と、
0:19:10	地震に対する炉心損傷頻度ですか、これの出展、
0:19:15	を記載し、追加していただいたんですけど、ちょっと改めて見るとですね ちょっと私は図自身の
0:19:25	ところで目についたので、
0:19:27	出典を追加してもらって、
0:19:29	たんですけど、
0:19:31	他にも地震、内の事象のところで、
0:19:35	立つ内的これ外的ですね
0:19:40	竜巻の 7.8 × 10 のマイナス。
0:19:43	7 乗とかあと、
0:19:47	真ん中下辺りで、
0:19:50	ISロッカーの 3.3 × -9 乗とか、
0:19:54	こういう数字が出てくるんですけど、こちらも同じように何か出典を記載 する。
0:20:01	という。
0:20:02	ことはできるのか或いはちょっと資料として、もう、この辺りの数字は自 明なので、
0:20:10	呼ぶ必要がない、ないのか、ちょっとその辺りを、
0:20:14	教えていただきたいんですけど。
0:20:22	中国電力の伊原です。地震以外の数値、表 7 の中に書いてあるもの に関しましても
0:20:31	地震の数値と同じような形で設置許可から読み込んでいるものになりま す。出典については記載することが可能なものになります。
0:20:44	江藤。一般的な数字では 5 ございませんので出典を地震について記載 するのであれば同じように記載した方がいい、いいのではないかなとち よっと今
0:20:55	ご指摘いただいて思いました
0:20:58	背弧者についてもちょっと記載するような形でちょっと検討したいと思 います。
0:21:04	以上です。規制庁池です。よろしく申し上げます。私からはウエキで、以 上です。
0:21:16	規制庁の齋藤です 268 ページの 7 ポツの、
0:21:22	について二つあるんですけども一つは形式的なことで、
0:21:27	7 ポツのタイトルがブローアウトパネル閉室を聞いているんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:31	これ、前の方でPOP閉止装置という、ていうふうに、
0:21:35	書いてるので、
0:21:37	直す必要があるんじゃないのかなとも思いました。あと、あと一つ中身の話で、
0:21:42	2行目にオペフロボTについては、SDを超える地震動で開放の可能性があることから、
0:21:49	閉止装置を設置するとあるんですけども、
0:21:53	267ページの4ポツ(1)。
0:21:57	を見ると、蓋段落目に、
0:22:02	オペフロボBは開放後炉心損傷に至る事故が発生した場合に、
0:22:06	作業員被ばく防止の観点から、
0:22:09	云々とそれで
0:22:11	EOP閉止装置を設置するとある、あります。
0:22:15	そういうことからすると、この4ポツ(1)に書いてある設置理由が、この7ポツのBOP閉装置の要否ってとこに出てこないところ。
0:22:26	何でこうなっているのかなというところを説明していただきたいと思いませんとそれは同様に
0:22:33	表7の方、
0:22:35	にも
0:22:36	1番目の閉装置の要否がこのSDD開放というところしかないので、
0:22:42	これも4ポツ(1)と表の7がちょっと整合しないように見えました。説明をお願いします。
0:22:51	中部電力の中下です。まず最初のご指摘で7ポツのブローアウトパネル閉止装置っていうのは、読替の名称にしなくて良いのかということですが、すけども現状の意図としましては
0:23:02	ページでいきますと、
0:23:04	前のページ、通しページ265ページの冒頭で読みかえはしている。
0:23:09	場所がありますけども1ポツはじめにの3行目。
0:23:13	原子炉建物燃料取替階ブローアウトパネル閉止装置を、
0:23:16	POBA措置を迎えておりますこちらについては、そのオペフロに設置するプロファイル閉措置についてっていう読みかえの利かせ方をここでして、
0:23:25	ありましたので、7ポツについてはそのMSTンネル室、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:28	要は閉止装置自体の要否ということでしたのでちょっとここは略称を使わずに、項目名称としてはブローアウトパネル閉止装置と記載していた。
0:23:37	という理由で、略称ではない記載と現状はしております。
0:23:41	続いての少時的ですけども、現状サノSD
0:23:46	を超える地震動で要は少しちょっと省略した記載にしておりましたけどもこちらのご指摘の、
0:23:53	内容 4 ポツの(1)の実際のその必要な理由というのを具体的に記載をしていくということ。
0:24:01	理解しましたので、
0:24:04	前のページの記載を踏まえまして記載の適正化を検討しようと思ひ、
0:24:09	します。現状の記載の意図としては前段で、詳細理由を記載しておりましたので、
0:24:16	もし具体的なその理由等を割愛したような形で、かいつまんでSGを超える地震動で開放の可能性があると。
0:24:22	というような表現にしていたところです。
0:24:25	以上です。
0:24:27	規制庁齋藤です住めないよ理解しました。
0:24:39	はい他何か確認ありますか。
0:24:43	よろしいでしょうか。
0:24:49	規制庁の義崎ですパワーポイント資料なんだ。10、資料 10 の、
0:24:55	ページ 26 ページで、
0:24:59	前回からの前回、
0:25:03	前回示していたデータの明確化ということで※4 てもらいました。マスキングなんで数字は言えないんですけども、
0:25:11	幸田代表としていた考え方の説明はこれ前のページにあるでしたっけ。
0:25:24	中部電力の中嶋です。代表としていた理由っていうのが現状資料中にはございませんけども、基本的にはその各
0:25:33	条件、例えばですけども 2 年ダンパー α 倍。
0:25:37	失礼します 3 年ダンパーの。
0:25:40	ある場合で、開状態で見ている時に、3ABCがある中の最も漏えいしているあたりを代表としてということそれぞれの
0:25:49	状態に応じた最も漏えい量が多いものを代表としていたという、
0:25:55	ことになります。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:58	規制庁のヨシツグですできれば 26 ページの※4 のところにどういう考えで代表にしていたかっていうのを、補足的に追記を検討していただきたいんですけども。
0:26:11	いかがでしょうか。
0:26:14	中部電力中島です。了解いたしました検討いたします。
0:26:20	規制庁吉田ですはい、よろしくお願いします。
0:26:23	あと前のページ 25 ページの赤字のところは、
0:26:27	これは今回追加になるんでしたっけ。
0:26:32	中部電力の中嶋です。はい。25 ページについてモリモト、写真とあと、左下の方にある概要図については前回、お示しさせていただいておりましたけども、右上の赤字の
0:26:44	北井。
0:26:45	あと、
0:26:46	WEBの拡大図に前提は今回追加したものとなります。以上です。
0:27:01	規制庁の吉崎笹井、つぶれしろがあるよってというのが、ちゃんと説明が入ったので、これで、
0:27:09	一応わかるようになってるので現地確認でも確認させてもらって、
0:27:13	一応これで理解しました。
0:27:16	はい。
0:27:17	私からは以上です。
0:27:23	はい。他はよろしいですかね。
0:27:27	はい、じゃあ事業者続きの説明をお願いします。
0:27:36	中国電力の内藤です。先ほどブローアウトパネル閉止装置について、コメントいただきありがとうございました。
0:27:43	資料、当社としての考え方た作成にあたって、当社としての考え方あったのですが資料 4-1 の中で、もう少し、
0:27:53	SSからSDからSs-Aの流れとか、もう少しこの中で、わかりやすいように記載できた方がよかったですと思いますので、その点説明性の
0:28:04	ことについても、前回審査会合でもコメントいただいていますんで、
0:28:08	説明性が、
0:28:10	より向上するように修正したいと思います。以上です。
0:28:14	引き続き、
0:28:16	SGTSの説明に移ります。あと色あります。
0:28:22	中国電力の植田です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:24	続きまして非常ガス処理系吸い込みこの位置変更による影響について説明させていただきます。
0:28:31	資料の方、丸さんの資料の、通しページ 12 ページをお願いします。
0:28:40	12 ページのナンバー124 からが市長非常用ガス処理系に関していただいたご指摘となります。
0:28:48	ナンバー124、図 1 のサプレッション・チェンバの温度条件について何の運動を示しているか説明することといったご指摘に対する回答として、図 1 の凡例についてサプレッション・チェンバの温度条件が推移を示していることがわかるように記載を見直しております。
0:29:08	該当箇所が資料No.11、
0:29:12	の通しページ 347 ページになります。
0:29:19	347 ページ、図 1 の右側に、各階の温度の解析結果等を、S/Cの温度条件について示しておりまして、
0:29:33	こちらのS/C温度条件の後ろに括弧水温を追記しております。
0:29:40	丸さんの資料の 12 ページに戻っていただきまして、ナンバー125。
0:29:48	開口総面積減少による負圧維持への影響がない説明について、原子炉棟内の差圧検出位置によらない理由を説明すること。
0:29:59	といったご指摘に対する回答として、原子炉棟内はトラス室上部ハッチで連絡されており、原子炉棟内で生じた圧力変動は遅滞なく、
0:30:10	均圧させるため、検出位置によらず、原子炉建物原子炉棟全体と外気との差圧を確認することができることから、
0:30:20	地下階の圧力挙動についても検出位置と同様であるとする旨を追記しております。
0:30:27	反映箇所につきましては資料No.11 の、通しページ 342 ページをお願いします。
0:30:40	342 ページ。
0:30:42	の、真ん中より少し下のところのなお勝ち以降の黄色ハッチングについて先ほどのコメント会を回答させて、を反映させていただいております。
0:30:53	また後程ご説明いたしますナンバー128 の回答についてもこちらの中に反映しております。
0:31:00	③の資料の 12 ページに戻っていただきまして、
0:31:06	ナンバー126、
0:31:08	6 のインリーク箇所について判例等により説明することといったご指摘に対する回答として、16 の緑枠について、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:19	インリークが発生する主な躯体開口部であることがわかるように、判例の記載を見直しました。また判例の見直しに合わせて、図中の記載を見直しております。
0:31:31	該当箇所が資料のNo.11、
0:31:35	の、
0:31:37	344 ページをお願いします。
0:31:43	344 ページの図 6 の右下期緑ハッチングの凡例として、
0:31:51	主な躯体開口部といった記載を追記しております。
0:31:55	また図 6 の断面図の方にも緑、
0:32:00	枠がございまして、右側のケーブルダクト等、指し示しておりました緑枠が、
0:32:07	地上 1 階面だけのものになっておりましたので、二階面と 3 階面に代表として記載させていただいております。緑枠について燃やする形に変更しております。
0:32:22	資料ナンバー③の 12 ページに戻っていただいて、ナンバー127。
0:32:29	図 1 の凡例の記載について検討することといったご指摘に対する回答として、図 1 の凡例について、青線と青点線が環境条件として設定した数値であることが、
0:32:43	わかるよう記載を見直しております。資料No.11 の通しページ 347 ページをお願いします。
0:32:55	347 ページ、図 1 の、先ほど説明した凡例とは別の箇所に記載しておりますものになりますが、グラフ、グラフの中の方、
0:33:06	に記載しております青線と青点線について、環境条件として設定した値であることがわかるような凡例に修正しております。
0:33:17	③の資料の 13 ページをお願いします。
0:33:24	ナンバー128。
0:33:26	トーラス室上部ハッチによりトーラス室と地上階が繋がっている旨の記載を検討することといったご指摘に対する回答といたしまして、原子炉棟地下階は地上階とトーラス室上部ハッチ等により連絡されており、
0:33:42	これにより、原子炉棟内が均圧される旨を追記しております。
0:33:48	反映資料といたしましては資料No.10、
0:33:52	の右肩 27 ページをお願いします。
0:33:58	右肩 27 ページのほうに記載しております回答の三つ目の矢羽根。
0:34:04	の方に、陳情地上階は、大物搬入地下階はトーラス室上部ハッチで連絡されている旨を追記しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:17	資料ナンバー3 の 13 ページに戻っていただいて、ナンバー129。
0:34:23	トラス室と地上階の関係を示す原子炉建物断面図の追加を検討することに対するご指摘といったご指摘に対する回答といたしまして、原子炉棟の断面図追加しております。
0:34:37	資料ナンバー10 の右肩 28 ページをお願いします。
0:34:46	資料No.10 の 28 ページの方に、補足説明資料で示しておりました断面図と同じものを追加しております。
0:34:56	え。
0:34:57	資料ナンバー3 の
0:34:59	13 ページに戻っていただいて、ナンバー130。
0:35:04	トラス室上部ハッチの設置目的、平時の有無を説明することといったご指摘に対するご回答といたしまして、トラス室上部ハッチの設置目的、閉止の有無、
0:35:16	並びに大物搬入孔及びトラス室上部ハッチの開口面積を追記しております。
0:35:23	資料ナンバー10、右肩 28 ページをお願いします。
0:35:28	先ほど追加いたしました断面図につきまして、注記のほうでトラス室上部発注は、機器搬入を目的にした瀬に設置したグレーチング発注であり、
0:35:39	コンクリートハッチ等により閉止することはない旨を追記しております。
0:35:44	またその記載の少し上の辺りにそれぞれの開口面積を示しております。
0:35:52	以上が、ご指摘いただいた内容のご回答でございまして、少し資料の方、記載の適正化を行っておりますのでそちらを説明させていただきます。
0:36:03	丸さんの資料の 14 ページをお願いします。
0:36:09	ナンバー177。
0:36:12	につきましては先ほどご説明いたしましたし、指摘事項に対するご回答のナンバー125 で、同様の趣旨の記載を追記しておりますので重複する記載を削除したのになります。
0:36:26	100 ナンバー178 から 180 については用語の統一を図ったものとなります。
0:36:33	ナンバー181。
0:36:36	につきましては、資料No.11 の通しページ 343 ページをお願いします。
0:36:45	343 ページの図 5 のタイトルの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:51	上の辺りに開口面積の方を示しております、前回ヒアリング時におきましてはマスクングで来ひこ公開しない内容としておりましたがメーカーと確認した結果公開可能な内容でしたので、
0:37:04	マスクング対象から外しております。
0:37:08	丸さんの資料の 15 ページをお願いします。
0:37:14	ナンバー182 といたしまして、用語の統一と、図、
0:37:21	図の方、16、先ほどついパワーポイントに追加した、いたしました図 6 について、躯体形状に合わせた断面図に修正しております。
0:37:33	資料No.11-344 ページをお願いします。
0:37:40	344 ページの図 6 の断面図につきまして、左側、断面図の左側の方に吸い込み高がございまして、設置レベルといたしましては、
0:37:52	中 2 階の方に設置をしておりますが、実際の躯体形状といたしましては中 2 階の方からするものではございまして、2 階面、
0:38:03	の方の空気を積み込み高の方に誘導して、
0:38:08	そういう形になっておきまして、ちょうど吸込工の下の辺り、吸い込み高のある部分につきましては、吹き抜け構造になっておきましてそこからするような構成としておきます。
0:38:21	ところ、この辺については現地確認の際にも 2 回目から下から見上げる形で、ご覧いただいたと聞いておきます。
0:38:29	以上、以上になります。
0:38:35	規制庁皆川です説明ありがとうございます。それでは、確認等あれば、
0:38:40	お願いします。
0:38:46	規制庁のヨシザキです灯説明ありがとうございます。
0:38:51	パワーポイント資料中か、資料 10 の 27 ページのところ、
0:38:57	カーで追記していただいたところなんですけども、
0:39:03	梶井の間で赤字と赤字の間で、下の方で通らしすと上部ハッチ等を開始。
0:39:09	遅滞なく均圧されるためってのがあるんですけども、これは
0:39:14	次のページの
0:39:15	断面図でいうと、地上階は大物搬入高でツーツになって、トラス室側はそのトラス室の上部 8、この開口部 3.24、先ほどマスクングが解除になったところですね。
0:39:30	だから上の方は 39 m ² で、大きく開口したところを、普通で繋がってるんでは、その 10 分の 1 ぐらいの大きさで繋がってるんですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:43	その遅滞なく均圧されるためってのは、全く同じ。
0:39:48	ように吸われて、負圧が達成されるとそういうことですかね少しく説明してもらえますか。
0:40:00	中国電力の植田です。遅滞なくといったところの意味合いといたしまして、原子炉建物原子炉棟につきましては、一定以上の
0:40:10	機密性を有しておりますので、ある程度負圧が立つまでにつきましては中の空気を吸っているものなど考えております。その上で、基本的には躯体内で開口等がございまして、
0:40:25	各部屋、連絡されてる形となっておりますので、ほとんど差がない状態で、吸い込み高から吸っていったものと考えております。
0:40:35	以上です。
0:40:44	規制庁のゆすりそうすると
0:40:47	もうほぼ時間の差はない、ないんですかね。
0:40:51	そういう説明でした。
0:40:57	中国電力の植田です。少し定性的なお話になってしまうかもしれないんですけど基本的には圧力変動、機密性の有してる建物内での話になりますので、
0:41:09	ここから発生した圧力変動につきましてはかなり高速で伝播していくと考えておまして、なので地下階、東電、仮に圧力変動が起きたとしても、
0:41:23	すぐ対応時間遅れとあまりなく、検出点までの圧力が均圧されると考えております。以上です。
0:41:35	規制庁の吉崎です。説明終わりましたけど少しこの辺の説明を、
0:41:41	ここ細かいというか
0:41:44	また建屋ごとのその負圧のなり方っていうかね。
0:41:49	ニイツ。少し補足的に説明してもらおうと、理解しやすいかなと思います。
0:41:56	先ほど言った何だ、機密性が高い建屋で、ある程度、一つになってるから、
0:42:03	トラス室側も一緒に引かれてきて負圧
0:42:09	規定負圧。
0:42:11	後ですか、規定の負圧が達成したら、
0:42:14	外側からインリークで引かれるってそうそう、そういうことでした。
0:42:19	そういう説明でしたか。
0:42:24	中国電力の植田です。ご認識の通りでございまして、外気との差圧の方が0よりも、下がった辺りからインリークが少しずつ発生していくものと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:36	考えております。以上です。
0:42:42	規制庁のヨシツグですその説明少し段階踏んだ説明であれば、わかりやすいと思うので、そのように説明していただければと思います。
0:42:53	それとですね補足説明資料で、
0:42:56	どうだろう。
0:42:57	共同の。
0:43:03	346 ページ。
0:43:07	温度の評価のところなんですけども、
0:43:14	346 ページの 1.2 のところで想定するシナリオで、
0:43:19	代表的な事故シナリオ最も過酷な環境が想定されていくということで、
0:43:26	BC1 を選定したんですけども、
0:43:29	これが最も過酷な環境ってのは、
0:43:32	最も温度が、何だ、トラス室の温度が上がる。
0:43:38	条件として選んでる。最も過酷な環境ってのがどういう意味なのか、説明してますか。
0:43:52	中国電力の上田です。今先ほど少しお話いただいた通りでございまして過酷な条件といたしまして、まず事象進展によってかなり温度の方変わってくると思ってまして選定にあたってはまず確認液位
0:44:09	炉心の損傷防止のシナリオではなくて格納容器破損防止が格納容器の温度が上がるシナリオということで選定をさせていただいております、その中で
0:44:21	温度が支配的となるS/Cだったりドライウェルの温度の方が上がる結果となった、暑う溶融物放出。
0:44:31	等のシナリオの方を選定しているといったものになります。以上です。
0:44:41	規制庁のヨシツグです確認ですけどS/Cの、
0:44:46	棒温度が一番高くなる。
0:44:49	このC件数を、案で評価したってこの過酷な条件環境では、プールの温度のことを言っているとそういう理解でよろしかったですか。
0:45:05	中国電力の植田です。解析に当たりましてはサプレッション・チェンバの温度以外にもいろいろ温度に影響を与える因子として
0:45:15	PCVからの所ハッチ類からの蒸気漏えい等も考慮しております、そ、その辺をちょっと包絡的全体的に見ていく中で過酷になるというところがございます、
0:45:29	実際には

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:31	DCHシナリオのほかに大LOCAシナリオっていうのも一緒に走らせておまして、このBCHのシナリオに包絡されることを確認しておりますのでDCHのシナリオ、
0:45:44	の方が各階の温度条件として最も厳しくなる事故として選定しているといったものになります。
0:45:51	以上です。
0:45:56	あ、規制庁のヨシザキです最も過酷な環境とか温度を指しているのがわかるように、発足というか、先ほど言ったその包絡条件っていうのも、
0:46:07	もし書いてあればそれでいいんですけど少し補足していただければと思うんですけども、いかがですか。
0:46:17	中国電力の植田です。ご指摘、理解いたしましたので最も過酷な環境を想定しているの環境が温度に対するものであるのと
0:46:28	あと崩落の話といたしましては
0:46:31	先ほど大LOCAシナリオも確認した上で包絡する条件として、包絡というかDCHのシナリオの中に入っていたというところでDCHのシナリオを選定したっていう。
0:46:44	記載を追加することを検討させていただきたいと思います。以上です。
0:46:51	はい。規制庁井関ですはい。検討よろしく申し上げます。
0:46:55	私から以上です。
0:47:02	はい。他何かありますか。
0:47:09	よろしいですかね。
0:47:11	あ、すみません規制庁ミナカワですけど。
0:47:15	パワーポイントの 27 ページのところ、すみませんちょっとこれまでの経緯とかも、私あんまりわかってないので、
0:47:23	ちょっと教えて欲しいんですけども。
0:47:27	モリモトの会合での指摘事項が、吸込口の位置変更前後での、
0:47:36	トラス室の負圧達成への影響について説明することっていうのが下会合での指摘事項になっていると思うんですけど、
0:47:45	今中国電力空の下階等の流れを見ると、4 回位ですかね、図 1 で示されてる。
0:47:57	圧力挙動の非架空を示した上で、
0:48:01	こういう理由でトラス室っていうのも、
0:48:07	均圧不遅滞なく均圧されて、まず 1 年示す強度挙動と同様になると考えますっていう形で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:16	間接的にトーラス室の負圧達成の影響についてご回答してるように見えたんですけど。
0:48:26	具体的にその指摘事項に対して、とトーラス室の負圧達成の挙動っていうところを、
0:48:35	ダイレクトに示さないで、4階で示している。なんかそその考え方みたいのってちょっと教えてもらってもいいですかトーラス室のところが示せないからこうしてるのかも申しないんですけど、
0:48:50	すいませんちょっと経緯とかもわかってないので、考え方を教えてください。
0:49:04	中国電力の植田です。
0:49:07	トーラス室の差圧を直接、トーラス室と外気の差圧を直接はかっている計器っていうのは当社にはございませんで、基本的には先ほど来説明させていただいてますように躯体の、
0:49:22	開口部等で繋がっておりますところにつきましては、均圧されておりますので、どこで検出しても、
0:49:30	同じ、
0:49:31	数字になると考えておまして、なので、
0:49:36	トーラス室ではなく、負圧の確認については、4回目に設けております差圧計のほうで確認できるといった流れを説明させていただいております。
0:49:49	以上です。
0:49:51	規制庁ミナカワわかりました。ちなみにすみませんちょっとわかんないんで教えて欲しいんですけどこの図、図1で示されてる。
0:49:59	この挙動は、実測であって下階セキじゃないっていう理解でいいんですけど。
0:50:09	中国電力の植田です。ご理解の通りで、実際にSGTの方を起動して、hrなので通常空調のほうを停止して、
0:50:20	非常が処理系を起動した時の挙動を、質疑込み高1変更前後の実際の値の方を示させていただいております。以上です。
0:50:31	規制庁皆川ですわかりました。はい現状わかりました了解です。
0:50:36	他何か確認。
0:50:39	ありますか。
0:50:41	ないですか。はい。事業者の方続きの説明をお願いします。
0:50:49	中国電力のミユキです。
0:50:51	それでは続きまして、医療用電源に関する回答せを行います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:56	資料ナンバー4で説明をさせていただきます。
0:51:00	まずこの資料ナンバー4について1点お詫び申し上げます。
0:51:04	この非常用電源設備の回答整理書について、過去に回答を行いました指摘事項に対する部分を非表示のまま提出してしまいました。申し訳ございません。
0:51:17	今回、該当するものについては、ナンバー1と書いてあるんですけども、過去の分から数えますと、ナンバー22となることをご承知おきください。
0:51:28	それでは、指摘事項に対しての回答を説明いたします。
0:51:33	指摘事項20ナンバー22について指摘事項の内容としては、皮膚対策により、遮断器の動作時間を従前から変更するものが、
0:51:43	あれば、変更前の時動作時間がわかるような記載を検討することというご指摘をいただいております。
0:51:51	に対する回答として、皮膚対策により、保護継電器の整定値を変更した対象がわかるように注釈を追記しました。
0:51:59	ということで、資料ナンバー11の
0:52:03	通しページ420ページをお願いいたします。
0:52:14	こちらの420ページは、表6-3を、
0:52:19	表示しておりますが、表の下の注釈として、904として、5.3項で設定した。
0:52:27	ワークエネルギーの閾値25メガジュールを超えない値となるように変更した、保護継電器の動作時間を示すという注釈を追加し、
0:52:36	該当する保護継電器の動作時間となる場所に、注釈をつけております。
0:52:43	同様に、423ページ。
0:52:47	にも、
0:52:49	ヒーフ対策として、
0:52:52	保護継電器の動作時間を変更したものがありますので、同様の記載を追記しております。
0:52:58	説明は以上になります。
0:53:04	はい、ありがとうございます。それでは、確認等あればお願いします。
0:53:15	規制庁のヨシザキです追記ありがとうございました。で、
0:53:18	今補足の420これはメタクーラーで、
0:53:25	メタクラは、
0:53:26	設定値の変更があったということだと思うんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:31	労働センターと今度センターについてはこちらの方はな設定の変更はなかったというそういう理解でよろしいんですかね。
0:53:41	中国電力のミュキです。
0:53:44	労働センターについてはご認識の通り、変更はありませんでした。
0:53:48	コントロールセンターにつきましては、通しページ 423 ページに示させていただいてる通り、注釈を追記したものについては、変更を行ったものになります。以上です。
0:54:02	規制庁の伊勢です。次のページの横のセンターの 1ヶ所だけあった。
0:54:09	ということですね
0:54:11	そっかそっか。
0:54:21	ちなみになんですよ今冬センターのこの 1ヶ所だけあったってのは、ここだけなんで、
0:54:28	変更になったんですかそのまあ、
0:54:30	阿部議員以上になったかっていうことでしょうか。
0:54:37	中国電力のミュキです。ご認識の通り、設定し、しておりますアークエネルギーの閾値の 4.4 メガジュールを、
0:54:46	従来の保護継電器の動作時間では超えるというふうな評価になりましたので、変更したものになります。以上です。
0:54:58	規制庁の吉池さんわかりました。ちなみにここはどうなんのしゃ断器でしたか。
0:55:14	中国電力のミュキです。表 6-3 の、
0:55:19	当該注釈の、
0:55:22	左側に記載しております通り、2、HPCSのコントロールセンターに接続される遮断器、
0:55:33	該当します。
0:55:35	以上です。
0:55:41	規制庁の吉崎です。HPCS用の遮断機、
0:55:48	という理解でいいですかね。
0:55:52	中国電力のミュキです。ご認識の通りです。
0:55:56	以上です。
0:56:02	規制庁の井関がとりあえずわかりました。はい。私から以上です。
0:56:14	はい。他何かありますか。
0:56:25	規制庁イワサキですすいませんちょっと今回の回答と直接関係ないところなんですけど、
0:56:32	もし 5.3 のアークエネルギーの閾値の評価のところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:38	406 ページの
0:56:41	箱の下 2 行目のところで、
0:56:46	ちょっと細かいところであれなんですけど閾値の設定の。
0:56:50	誤差を保守的にしました。
0:56:53	測定五社誤差を、その保守的にしたっていうのはこれって、切り上げたとかそういうあれでしたっけ佐瀬ちょっと何か聞いたかどうかはちょっとなくて、
0:57:02	誤差を保守的にどういうふうにしたんでしたっけ。
0:57:08	中国電力のミュキです。
0:57:12	通しページ 408 ページの表 5-3-1 で説明いたします。
0:57:19	えっと、今回設定したアークエネルギーの閾値が一番右端の値になっておりますけども、
0:57:26	アーク火災が発生した最初のアークエネルギーと、火災が発生しなかった最大のアークエネルギー値を比較して、
0:57:37	アークエネルギー、火災が発生しなかった最大のアークエネルギーから、
0:57:42	その測定誤差として、名店 8、
0:57:46	の、
0:57:48	0.8%の誤差がこの測定値にあったとして、さらに低いエネルギーで、
0:57:56	火災が発生しなかったというふうに評価するため、
0:58:02	0.8%分を、助手除いた、25.09 という式、与えよったら、閾値を、
0:58:13	その下を切り捨てて、25 メガジュールというふうに設定しております。
0:58:18	その他の労働センター等についても同様の処理をしております。以上です。
0:58:38	あ、ごめんなさいちょっと。
0:59:02	すいません岩崎ですちょっと細かいところで申し訳ないですけど、
0:59:07	何で 5 誤差を保守的にしたんじゃないかって、誤差を踏まえて保守的にした。
0:59:13	てことでいいですかね。
0:59:17	中国電力のミュキです。5 人、ご認識の通りです。
0:59:22	以上です。
0:59:26	すいませんわかりましてごめんなさいちょっと私のちょっと解釈はあまりよくなかったわけですからわかりありがとうございます。
0:59:37	はい。他、よろしいですか。
0:59:42	規制庁皆川ですけど。今 406 ページ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:47	測定誤差のところなんですけど、もしかしたら今のやりとりを踏まえると、
0:59:53	保守的に測定誤差を考慮した上での方が、
0:59:57	わかりやすいかもしれないのでそこは適宜事業者の方でベストな、
1:00:03	表現を検討いただければなあと思いますけど、いかがですか。
1:00:10	中国電力のミュキです。ご指摘理解いたしました。少し記載の見直しを検討したいと思います。以上です。
1:00:18	はい。よろしく申し上げます。
1:00:21	他はよろしいですかね。
1:00:25	はい。
1:00:30	プラントのあれでしたっけ介護関係の説明は以上でしたっけ。
1:00:39	中国電力の内藤です。はいプラント記念関係の説明は以上になります。
1:00:43	はい。この夫はスケジュールですか。
1:00:48	中国電力内藤です。はい。その通りでスケジュールの説明になりますがその前にコメントの確認をさせていただいてもよろしいでしょうか。はい。じゃあお願いします。
1:01:01	当面協議いたしますので少々お待ちください。
1:01:27	中部電力中島です。アメリ指定明日が確認できているでしょうか。
1:01:34	はい見えてます。
1:01:39	中部電力の加島で了解しましたそれでは、ナンバー1からですけども、補足説明資料の、
1:01:44	168 ページ、永平寺装置関連ですけど、7 ポツについて、
1:01:48	MSTンネルSPARTパネルの要求としてはSD機能維持だが、どういう理由で正式のイドして設計しているかが分かる記載を検討すること。
1:01:57	続いてナンバー25 日補足説明資料で
1:02:02	270 ページ。
1:02:03	です。投票ならないの。炉心損傷確率等の数値について、
1:02:08	その他数値ですね、について出典の記載。
1:02:12	を検討すること。
1:02:14	続いてナンバー3 の補足説明資料の 268 ページです。オペフロブローアトパネル閉止装置。
1:02:20	の設置が必要な理由の拡充を検討すること。
1:02:24	続いてナンバー4 ですがパワーポイント資料ですけども、
1:02:28	26 ページの、装置関連でダンパの通気量について、前回資料D代表値としていた理由を注記にて補足を検討すること。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:38	続いてナンバー5でパワーポイント資料の27ページですけども、SGTの件ですね、SGTGSGSGT起動時の原子炉棟内の空気の動きについて、
1:02:51	建物の気密性からまずは各エリア、原子炉棟内が負圧になってくると、外勤リークという、
1:02:57	何というような、段階的な説明を検討すること。
1:03:00	続いてナンバー6で補足説明資料の346ページです最も過酷な条件、
1:03:06	イシイ1フジキの温度に関して、最も過酷な条件がDCH。
1:03:11	年が温度の観点で最も過酷であるということがわかるように検討すること、記載を検討すること。また、
1:03:19	事故シナリオの選定の考え方を説明すること。
1:03:23	最後の浜名ですけども、補足の406ページ。
1:03:26	測定誤差を保守的に考慮した上で、について記載の適正化を検討すること。
1:03:32	以上になります過不足あればご指摘お願いします。
1:03:49	ウエキですけど一番は私はそれで結構ですけど齋藤さんもちょっとヒロイ。
1:03:58	コメントしたかと思うんでええと、
1:04:01	ちょっと後で。
1:04:02	これあと2番は損傷頻度ですね、確率じゃ。
1:04:14	炉心損傷頻度。
1:04:27	で、記載だけなので、には括弧書きで結構、
1:04:46	ヨシザキですけど、ナンバー、
1:04:49	ナンバー
1:04:56	6番津野ちょっとしてあげていただいて、
1:04:59	DC値のところと言えば温度の観点苛酷ってということとほかシーケンス数を包絡するというのもあったので、そういったところも検討して、
1:05:11	最も過酷くうな温度条件として抽出というのも、説明いただきたいと思えます
1:05:18	他のシーケンスを包絡する条件ってのも、
1:05:21	言っていたと思うので、そこについても検討をお願いします。
1:05:28	中国電力の植田です。ご指摘理解いたしました一応また以降のところですね事故シナリオ選定の考え方ってところで他のシーケンス、
1:05:39	について確認しているところを追加することを考えておりました。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:45	規制庁吉崎はい。そうであればわかりました。
1:05:55	5番はその通りなんで。はい。
1:05:59	はい。私からは以上です。
1:06:04	規制庁岩崎です7番は事業者の方で適切にご対応いただければ、
1:06:11	大丈夫かなと思いますので、
1:06:16	括弧で大丈夫です。はい。ありがとうございます。よろしく申し上げます。
1:06:22	一番見せてもらっていいですか。
1:07:09	規制庁ミナカワですはいそれでは確認取れましたのはい。これはOKです。
1:07:24	はいこの後、スケジュールルーの説明だと思うんですけども、こちらも今の
1:07:33	間、間で人そろったので、事業者の方でもし説明できるようであれば、説明を開始してください。
1:07:43	中国電力の内藤です。それでは、
1:07:47	補正の対応状況と説明工程、詳細スケジュールについて説明させていただきます。
1:07:54	まず資料の⑦。
1:07:57	N-Sに他 07302。
1:08:01	資料をお願いいたします。
1:08:09	こちらの資料で変更点は赤字で示しております。
1:08:15	右肩2ページ。
1:08:17	所。
1:08:20	耐震性に関する説明書の各施設の耐震計算書の母数を2図書をふやしております。
1:08:27	この説明については、2月3ページのほうでまとめて説明いたします。右肩3ページをお願いいたします。
1:08:37	逃げた3ページのところ、当初数変更してるところについて説明いたします。
1:08:42	表中の上から四つ目、耐震性に関する説明書、設計上重要な設備を設置する施設の耐震性に関する説明書、
1:08:53	んつきましてですが、
1:08:56	こちらは前回のヒアリング時に、⑧の資料、詳細スケジュールに於いて、
1:09:05	第6回となっていた当初を第5回に修正することについてご説明いたしました。詳細スケジュール上で説明いたしましたが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:13	その後確認いたしましたところ、詳細スケジュールの方が正しいことがわかりましたので、
1:09:21	こちらの⑦のパワーポイント資料の中で、第 6 回補正を、
1:09:28	に当初ふやして、12 当初に、
1:09:31	第 5 回補正を、に当初減らして 12 図書に修正させていただきました。
1:09:36	具体的に処理につきましては、
1:09:42	目録番号が、ローマ数字の 6 の 2-2-25 屋外配管ダクトBディーゼル燃料タンク貯蔵タンクから原子炉建物の耐震性についての計算書、
1:09:56	もう一つが、
1:09:58	6-2-2-27 屋外配管ダクト、タービン建物から放水槽の耐震性についての計算書になります。
1:10:09	続きまして、耐震性に関する説明書の、各施設の耐震計算書の変更点。
1:10:16	表でいきますと下から 2 行目。
1:10:19	のところですね。
1:10:21	の説明です。まず、
1:10:26	押す、前科説明した段階ですと、
1:10:31	前回のヒアリングの際には、第 5 回補正を 110 度書に、第 6 ホソヤ 27 図書に修正させていただくことについてご説明させていただきましたが、
1:10:43	ガスタービン発電機の制御電源である緊急用直流 115V蓄電池等、緊急用直流 60V蓄電池の耐震性についての計算書、
1:10:57	つきまして先行プラントを、
1:11:01	の状況分、
1:11:04	確認いたしまして、基本設計方針のみに該当する設備として、この蓄電池は、外、
1:11:14	位置付けて、申請対象としまして、耐震性計算書、
1:11:20	を提出することといたしました。
1:11:25	説明につきましては 3 月、
1:11:28	に基本設計方針のヒアリングを実施させていただいておりますが、そこでもうご説明させていただいております。
1:11:37	その当初の反映がちょっとここでは漏れていたというところになります。追加したのは第 4 回、
1:11:45	補正のところで、緊急用直流 115 分と蓄電池をふやしまして比 114 当初 1 年をふやして 114 当初に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:57	第5回補正のところで、緊急用直流60V蓄電池を1年をふやしまして、111でしょう。
1:12:05	前回110とするとおっしゃってましたが111と一緒に変更させていただいて母数を2図書やさせていただいております。
1:12:12	強度に関する説明書につきましては前回説明した変更内容を反映したのものになります。
1:12:20	⑦の資料の説明は以上になります。
1:12:27	続きまして、⑧の資料についてご説明させていただきます。
1:12:34	次の説明工程ですが、変更箇所、
1:12:39	赤字で示しておりますのは前回の審査会合からの変更箇所になりますので、
1:12:45	と前回のヒアリングから変更した箇所について、
1:12:48	個別で説明いたします。
1:12:52	まず、
1:12:56	上からいきますと、
1:12:59	施設共通の説明書
1:13:01	もう、
1:13:06	大綱、津波への配慮のところですね。
1:13:10	こちら
1:13:14	主な説明事項の説明可能時期が、7月上旬からでしたが中旬に変更させていただいておりますこちらのマル。
1:13:23	⑨の資料等は整合しているものになります。
1:13:29	続きまして施設共通の12番目の健全性のところのIVなあ侵入防止、不法な侵入等の防止についてはコメント対応済みのものだったのでそこらは反映させております。させていただいております。
1:13:44	コメント対応済みに関しましては
1:13:48	審査、審査の進捗によりまして、
1:13:51	5の竜巻への配慮や、7の外部火災の配慮等、コメント対応済みに今週なっているものがございますのでそこらは、
1:14:02	審査会合資料資料としては反映させていただこうと考えております。
1:14:06	前回ヒアリング事務をご説明いたしましたが、今後、再度コメントいただいた際はですねこのコメント対応済みとなったものにつきましても、
1:14:16	しっかり対応させていただきたいと考えております。
1:14:20	続きまして施設共通の14の溢水防護ですがこちらへ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:28	説明期間の現状想定 ^① の赤の点線のところが前回は7月末までだったのが、1ヶ月延長して8月末までという変更させていただいております。
1:14:40	現状の審査の進捗を考慮して延長させていただいたものになります。
1:14:46	下の方に行きまして
1:14:48	耐震性に関する説明書、
1:14:51	4、
1:14:52	浸水防護施設の耐震性に関する説明書、
1:14:57	ですがこちらの、
1:15:00	赤の点線の説明期間、現状想定が、6月からになっていたところを、7月からに変更させていただいております。防波壁
1:15:11	の説明に合わせたという形になっております。
1:15:15	続きまして、5の波及的影響を及ぼす恐れのある施設の耐震性に関する説明書、
1:15:21	こちらの前回のヒアリング時にご指摘いただいたものですが、前回、
1:15:27	想定 ^② の青の点線の説明期間が短くなっていたところを、3月末までに延ばしたというものになります。
1:15:39	最後強度に関する説明書、4津波または溢水への配慮が必要な施設の強度計算書ですが、
1:15:48	こちら、
1:15:52	7月の
1:15:55	初めから説明開始としていたところを、
1:16:00	要望廃棄に合わせた説明工程に、
1:16:03	修正させていただいたというものになります。
1:16:07	続きまして、
1:16:09	⑨の、
1:16:11	詳細スケジュールの、
1:16:13	変更内容についてご説明いたします。
1:16:19	変更内容としましては、
1:16:22	実績、今までの審査の実績を、
1:16:26	を反映し、
1:16:27	して反映できてなかったところを反映したというところが主なところになります。
1:16:34	あとは、上からいきます。1ページ上から言いますと要目表、こちら808の資料と少し合ってなかったのをこちら修正させていただいたところや、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:47	下のところ、溢水、1 ページの下のところの溢水については、⑧の資料でも、
1:16:52	1 ヶ月延長させていただいておりますが、こちらも1 ヶ月延長させていただいたと。
1:16:57	いうところの、
1:17:00	あとは、
1:17:03	4 ページ。
1:17:07	の備考欄のところですが、
1:17:10	こちらで
1:17:12	再補正となったものの対象を、
1:17:16	明確にさせていただいたというものになります。
1:17:20	それが4 ページと、
1:17:22	5 ページ。
1:17:27	あと6 ページ。
1:17:28	再補正の対象がありますので、
1:17:33	そこをこのスケジュールでもわかるようにしたというところですよ。
1:17:40	あと5 ページ。
1:17:44	中ほどのところ、
1:17:49	補足説明資料につきまして、
1:17:54	現状の想定としましてちょっと、提出時期を先に延ばさせていただいたものがあると。
1:18:02	いうところになります。
1:18:04	主な変更点は以上になります。
1:18:07	お時間、こちらからの説明は以上です。
1:18:11	規制庁ミナカワで説明ありがとうございますそれでは今の説明について何か確認等あればお願いします。
1:18:22	規制庁大野です。8 番の資料は、すいません、7 番の資料ですね。
1:18:29	に戻っていただいて、期限の耐震の説明書について、ちょっとすいません3 月のヒアリングの内容ちょっと覚えてないんですけども、3 月のヒアリングの内容を踏まえて蓄電池の二つを計算書追加スルーの
1:18:45	それが漏れていたという理解でよろしかったです。ですね。
1:18:50	中国電力の内藤です。はいその通りです。はい。ちなみに3 月ヒアリングはですね、基本設計方針のヒアリングになりますけどその前に2 月のヒアリングの際に、機電耐震のヒアリングで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:02	先行との比較のことについて議論なりましてそれを受けまして社内で確認したところ、
1:19:09	先行踏まえると、この蓄電池二つについては、
1:19:13	申請対象とした方がいいと考えまして、
1:19:16	実際に反論に図書ふやしまして、
1:19:19	実際第4回補正でも大瀬させていただいたところになります。以上です。
1:19:24	わかりました。
1:19:26	それです。9番の資料にもそれ反映されていますか、ちょっとぱっと見つけられなかったんですけど、
1:19:37	中国電力の内藤です。
1:19:38	はい。9番の資料ではですね、もともと前回提出した時に反映していたものになりますちょっと、
1:19:47	と場所としましては、
1:19:50	7ページ。
1:19:53	お願いいたします。
1:20:05	7ページの、
1:20:10	下というか区分2勝6-2の中の1の非常用電源設備の耐震性に関する説明書のシリーズの中の、
1:20:22	6-2の中の1-2-3。
1:20:26	ガスタービン発電機の耐震性についての計算書、
1:20:30	ここを一つ使えてないのですがこちらがもともと、
1:20:40	そう。
1:20:42	右の一番右の方に行きますと、図書数が8となってるんですがもともとは6だったところを8にしているというところなんです。
1:20:52	以上です。規制庁ですはい。理解しました。私から以上です。
1:21:00	はい他何か確認ありますでしょうか。
1:21:12	あ、規制庁チギラです。すいません。
1:21:17	⑨の資料で幾つかちょっと細かな点を確認させてください。
1:21:24	まず、3ページ。
1:21:28	の、
1:21:30	取引の基本方針のところなんですけど、ちょっと今
1:21:36	以前最近のヒアリングの中で、補足説明資料として重大事故と対象設備の分類及び大臣設計の概要という資料が追加で出てきておりまして、それがこの表には反映されていない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:51	ですけどこれは補足として、
1:21:54	追加されるというお話だったので次回、反映していただければと思いますが、よろしいでしょうか。
1:22:04	中国電力の内藤です。承知いたしました。
1:22:07	次回追加させていただきます以上です。はい。
1:22:11	それと、同じく3ページで、中段ぐらいに補足の図-023-11ということで、
1:22:21	近づいて仮設備の設計方針に係る補足説明資料というのがあります、
1:22:28	これが今回ちょっと8月15日の週に伸びているんですけど、
1:22:36	確認ですけどこれ、この補足説明資料っていうのは、論点の1-8の設計地下水の設定。
1:22:46	というものは、直接は関連、がなくて、切り離す切り離せるものと、
1:22:58	そういう理解でよろしいですか。
1:23:02	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:23:05	はい。論点につきましては地下水の設定の考え方の3次元の浸透流の申し送り事項で出てきておりまして、こちらの方は新しく地下水位低下設備の
1:23:16	設置方針等、あと設備の具体的な内容をご説明するので、論点ではないというふうに考えております。以上です。
1:23:24	はい。
1:23:25	藤。
1:23:26	規制庁チギラヤス地盤の申請の補足説明資料の中で論点については触れられているという理解でよろしいですか。
1:23:37	はい。中国電力ヨシツグでございます。そのご認識でございます。
1:23:43	はい、わかりました。
1:23:45	続けて、7ページ。
1:23:47	お願いします。
1:23:50	の中段から、
1:23:52	ちょっと下ぐらいのところに、浸水防護施設、
1:23:57	についてあるんですけどこれの補足の-027-08。
1:24:03	浸水防護施設の補足説明資料ですが、
1:24:08	これも前回の資料から後の話になって8月の1日の週に移っていて、
1:24:15	それでちょっとこの補足と、あとその下にあるですね防波壁の地震応答計算書とか耐震性の計算書、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:24	これが第 5 回補正で出てきて今、
1:24:29	7 月の中旬ぐらいになってないですけど、
1:24:31	補足が出てくるタイミングと計算上のところで、2 週間ぐらいタイムラグ があって、実際に説明される。
1:24:41	ていうのは補足とセットなのかなと思っているんですけどこの辺のタイム ラグというか、この辺についてはどのようにお考えですか。
1:25:01	少々お待ちください。
1:25:39	中国電力の内藤です。
1:25:43	ご指摘の通り
1:25:45	他浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料につきまして はヒアリング開始の時に説明するものですのでちょっとこちら、
1:25:55	合っていないことについて、
1:25:57	合わせないといけないところでしたので
1:26:02	そのように修正したいと思います。以上です。
1:26:06	はい。規制庁とりあえずわかりました補足の方を直すのかあと計算値 の方を移動するのかそちらについては、ちょっとご検討いただいて
1:26:16	整合を図っていただければと思います。
1:26:19	あと最後ですが、11 ページです。
1:26:23	で、床令和津波の
1:26:26	共同経産省についてですが、今この中では津波への配慮というところで 共同計算部分の補足説明資料というのは、ここ、
1:26:39	表には出てきてはいないんですけど、これは
1:26:43	補足の 015、水防護に関する説明書の補足説明の中で説明があると。
1:26:52	他のところで、含まれていると、そういう理解でよろしいでしょうか。
1:27:06	はい。中国電力の長田です。浸水防護施設の補足説明の中で強度の 方も併せて、必要事項をご説明させていただこうと考えております以上 です。
1:27:18	はい。規制庁吉良です補足の 02708 っていうやつで浸水防護施設の耐 震性、
1:27:25	に関するものがあって、そこで耐震と強度と一緒にということよろしい ですか。
1:27:37	はい。中国電力の長田です。はい。ご理解の通り先行機の構成等も確 認させていただきまして今そのように考えております以上です。
1:27:46	はい。規制庁長です。わかりました。私から以上です。
1:27:58	はい。他何か。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:00	スケジュール関係ありますか。
1:28:03	よろしい。
1:28:05	いいですかね。
1:28:09	はい、じゃあ、スケジュール関係は以上になりますけれども、この後は、
1:28:16	あれですかね。
1:28:18	一番関係。
1:28:20	ですね。
1:28:28	中国電力の内藤です。
1:28:31	はいどうぞ。少しコメントをいただいておりますので、コメントの確認させていただいてもよろしいでしょうか。
1:28:37	その前にちょっと1点だけよろしいですかね。
1:28:41	はい。
1:28:43	規制庁吉崎ですパワーポイント⑩の資料で、
1:28:48	ちょっと記載ぶりだけなんすけどこれ38ページ2、説明をやる。
1:28:56	物なんか一覧表みたいのがあって、
1:28:59	1-1から4-4まであって、今回やるものと、その終わったもの。
1:29:06	がわかると。
1:29:10	見やすいなと思ったんですけど、
1:29:12	そういう工夫は、検討してもらえるでしょうか。
1:29:18	中国電力の内藤です。承知いたしました。
1:29:22	そのように、この38ページで、今までやったものと、今後やるものとか、今回やるものとか、わかるような、
1:29:31	量列をですね、追加したいと思います。以上です。
1:29:35	はい。規制庁井関さんの全体がわかるので、ぜひお願いします。
1:29:40	私から以上です。
1:29:46	はい、じゃあコメントの確認の準備をお願いします。
1:29:56	中国電力内藤です。画面共有いたしますので少々お待ちください。
1:30:26	中国電力タイガワですが面補強いたしましたけども、ご確認いただけますか。
1:30:33	はい、大丈夫です。
1:30:42	画面の方確認できましたので、説明をお願いします。
1:30:49	中国電力タイガワですそれでは指摘事項について、読み上げさせていただきます。
1:30:55	まず一番として、
1:30:57	当資料名、9番の詳細スケジュール。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:02	ついてですけども、
1:31:04	3 ページのところ、耐震基本設計方針、
1:31:08	一補説として、私、SA設備分類、
1:31:16	包摂を追加すること。
1:31:19	からナンバー2として、同じく、
1:31:22	資料名⑨詳細スケジュールですけども、その7ページと浸水防護施設の耐震計算書について。
1:31:32	補足説明資料の提出、
1:31:36	どうしても補正時期を適正化すること。以上2点です。
1:31:43	はい、規制庁チギラヤス二つの、これで結構です。
1:32:00	中国電力の内藤です。先ほど吉崎さんからコメントいただいた
1:32:06	⑩の資料、
1:32:10	38 ページのところについてちょっとまだ記載できてないんですがそちらも、
1:32:19	主な説明事項について、ご説明状況はわかりました。認識合ってればそれで構わないので、後で追加しておいてもらえれば十分です。
1:32:31	はい、承知いたしました。
1:32:33	はい。お願いします。それではスケジュールは以上で、次の地盤関係なんですけれども、十分休憩を挟んで、15時15分から再開ということでよろしくお願いします。
1:32:48	中国電力の内藤です。承知いたしました。
1:32:59	規制庁の服部です。
1:33:01	それでは、島根2号機設工認についてヒアリングを再開いたします。
1:33:06	これからのヒアリングは土建関係の審査会合資料のヒアリングになります。よろしいでしょうか。どうぞ。
1:33:15	中国電力の落合ですそれで問題ございません。以上です。よろしくお願いします。
1:33:21	規制庁の服部です。
1:33:22	それでは前回のコメント回答1件ですので、
1:33:27	中国電力側から、コメント回答を含めて一通り説明をいただいて、そのあと、規制庁側から事実確認をしたいと思いますがいかがでしょうかどうぞ。
1:33:40	中国電力の落合です承知いたしましたコメント回答と、あとちょっと記載適正化したところもございますので、そういったところをちょっと一通りですねご説明させていただければと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:52	規制庁の服部です。はい、わかりました。
1:33:55	資料の確認はお済みでしょうかどうぞ。
1:34:05	規制庁の判断力のオチアイです。規制庁の八田です。とりあえず資料の確認を、もう1回お願いしますどうぞ。
1:34:13	中国電力の落合です。それでは資料の確認、今から使う資料をですね確認させていただきます。資料のナンバー1が、指摘事項に対する回答整理表ということで、主な説明事項に関するものです。それから、
1:34:29	No.5と6が、それぞれ回答整理表になりまして、ナンバー5の方が、保管場所及びアクセスルートに関するもの、それからNo.6が建物の地震応答解析モデルに関するものです。
1:34:41	それからNo.7飛びまして10になりますけども、これが論点整理についてのパワーポイント資料になります。それからNo.11が発足説明ということで、
1:34:53	論点の説明した絵とワードの資料になります。資料、用いる資料は以上になります。
1:35:01	規制庁の八田です。
1:35:03	はい資料の確認ができましたので、それでは中国電力側から説明を始めてくださいどうぞ。
1:35:10	はい。中国電力の秦です。
1:35:13	ではまず衛藤建物基礎底面の付着力の方の説明を行います。
1:35:17	資料No. 1-をお願いします。
1:35:22	こちらは審査会合における回答整理表になります。
1:35:27	付着に関係するものとしてナンバー5がございます。
1:35:31	コメントの内容としましては、基礎浮き上がり評価について訂正事実となる建物に対して、複数の手法を使い分けて適用することの妥当性を、
1:35:43	建物の基礎底面の付着力の論点とあわせて説明すること等、ご指摘をいただいております、こちら前回ご説明しましたけども、前回のヒアリングを踏まえまして回答内容を追加しております。
1:35:57	衛藤右側の赤字の部分を追加しておりますけれども、回答内容につきましては資料No.10のパワーポイント資料を用いて説明をさせていただきます。
1:36:07	白ナンバー10をお願いします。
1:36:13	2ページになります。
1:36:15	こちらは同じように、審査会合における指摘事項と回答を記載しておりますけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:21	二つ目の矢羽根赤字で記載しておりますけども、前回ヒアリングコメントを踏まえまして付着考慮ありなしモデルによる応答比較を実施した結果、接地率は改善され、
1:36:34	水平応答に与える影響は軽微であることを追記しております。
1:36:38	さらに、一番下の、以上のところからで始まる場所、
1:36:43	こちらの赤字部分になりますけれども、モデルの使い明けのほかにも基礎底面の付着力として、設置変更許可段階でご説明した値の保守性妥当性を確認した旨を追記しております。
1:36:57	それから先ほどご説明しました回答欄の二つ目の矢羽根の具体的な内容につきましては7ページをお願いします。
1:37:10	1ポツ3として付着力法ルームによる建物応答への影響の検討ということで、このページを追加しております。
1:37:20	これはこれまでのヒアリングの中でご説明した内容ですけども、簡単に概要を説明すると、表1で、付着力を考慮していないSRモデルを用いる建物の比較を行っております、
1:37:32	建物や、内包する機器の重要度、
1:37:36	最小接地率から原子炉建物の代表選手として選び出して、
1:37:40	付着力ありなしによる応答比較を行っております。
1:37:44	結果は表2に示しますように、付着力を考慮することで、接地率は改善し、
1:37:50	さらに、図2、図3に示すように、付着力ありなしにかかわらず同等濃度を示したということで、
1:37:57	水平応答に与える影響は軽微であると結論づけて、
1:38:01	結論を入れております。
1:38:03	以上がこの会合でのコメントの回答になります。
1:38:10	続きまして、資料ナンバー6をお願いします。
1:38:17	1ページ目の
1:38:20	こちらは
1:38:23	詳細設計の申し送り事項の表になりますけども、
1:38:27	江藤ナンバー4号をご覧ください。
1:38:31	ここでちょっと資料の2誤記がありましたので、訂正をさせていただきます。
1:38:38	こちらNo.4号の解答欄ですね中央辺りにですね、1号機原子炉建物で設置率を59.1%と記載しておりますけども、
1:38:49	こちら59.2%が正しい値となっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:55	鳥栖合わせましてパワーポイント資料の該当ページ、
1:39:00	も同じく訂正をさせていただきますので資料ナンバー10をお願いします。
1:39:12	こちらまず3ページになります。
1:39:17	この表の申し送り事項ナンバー1の回答欄。
1:39:21	の二つ目のポツ。
1:39:23	ええと5行目に、同じく59.1%と記載してありますがこれ59.2%です。
1:39:32	続きまして同じパワーポイント資料の6ページ。
1:39:37	になります。
1:39:38	図2のフロー図の、
1:39:41	右側の補足2の具体的な取り扱いについての中ほどですね、こちら59.1%と記載してありますが59.2%。
1:39:52	して、最後11ページになります。
1:39:59	四つ目の矢羽根の一番下ですね。
1:40:02	こちら59.1%と記載しておりますが、59.2%が正しい値となっております。
1:40:10	以上、大変失礼しました。訂正してお詫びいたします。
1:40:15	では、説明の方に戻りますが、
1:40:20	資料ナンバー6のをお願いします。
1:40:27	先ほどの申し送り事項のNo.4 東郷。
1:40:30	の
1:40:32	になります。こちらは衛藤さん次元地盤モデルを用いる場合の誘発上下動の考慮の考え方につきまして、
1:40:40	前回ヒアリングでのご指摘を踏まえて回答内容を充実させております。
1:40:46	具体的な内容につきましては、パワーポイントでご説明しますので、資料ナンバー10をお願いします。
1:40:57	6ページを、
1:40:59	6ページをご覧ください。
1:41:03	先ほどご説明しました図2の評価フローの右の補足2をご覧ください。
1:41:11	上から下、二つ目の点線の四角の枠です。
1:41:16	こちらジョイント要素に付着力を考慮した3次元FEMモデルにつきまして、接地率にかかわらず、誘発上下動の影響を確認し、影響の程度に応じて考慮の要否を判定する旨を記載しております。
1:41:31	さらにその下、補足2の具体的な取り扱いについてという枠を追加しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:39	ここでは、ジョイント要素付着力考慮を用いた 3 次元FEMモデルを採用している廃棄物処理建物と 1 号機原子炉建物の最小接地率を記載し、
1:41:51	ともに 35%を大きく上回ることから、
1:41:55	浮き上がりによる影響はないことを確認し建物の設計においては、誘発上下動を考慮しないことを記載しております。
1:42:03	また、戸田市として、
1:42:05	機器配管系の設計において、念のため設計を床応答スペクトルに、誘発上下動を考慮する旨を記載しております。
1:42:13	以上が、申し送り事項のナンバー4 個の説明になります。
1:42:17	続きまして、当資料ナンバー6 の方をお願いします。
1:42:24	今回は 3 ページ。
1:42:26	飯尾をお願いします。
1:42:29	こちらは、
1:42:31	ヒアリングの指摘事項に対する回答整理法になりまして、
1:42:36	前回のヒアリングでは新たなご指摘はございませんでしたが、
1:42:40	前回ヒアリングの中で、前回、後日回答としていました、ナンバー1 と 2 棟 4 と 7、ここ、こちらの
1:42:51	ご指摘につきましては、それぞれ別の案件で該当するというので、
1:42:57	今回回答として備考欄に記載しておりますように、コメント移動をさせていただきたいと考えております。
1:43:05	以上が、ヒアリング指摘事項の回答の説明になります。
1:43:11	続きまして、同じ資料。
1:43:14	ナンバー6 の 5 ページをお願いします。
1:43:19	こちらは記載の適正化の説明になります。
1:43:24	まず、ナンバー13 になりますけども、
1:43:28	これは許可段階からの申し送り事項に対する回答方針を、パワーポイントに記載しこれに合わせて、全体の
1:43:36	資料構成を見直したというものになります。
1:43:40	具体的には資料ナンバー10 でご説明をしますので、
1:43:44	資料ナンバー10 をお願いします。
1:43:50	まず、3 ページをお願いします。
1:43:54	次の 4 ページにわたって詳細設計、最大径申し送り事項に対する回答のページを追加しております。
1:44:04	こちらに申し送り事項や分類回答と、該当ページを表形式でまとめております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:11	ここで衛藤地震ほど解析モデルに関連した申し送り事項で分類Aとなっているものは、4 ページのナンバー4 のみですけども、
1:44:21	この表では、分類Dも掲載し、しております。
1:44:25	これは 2 ページに戻っていただきまして、
1:44:30	審査会合の、
1:44:32	前回審査官会合のご指摘、
1:44:34	の内容で、
1:44:38	モデルの使い分けに関する申し送り事項と合わせて、付着の論点を説明するようにというご指摘を受けておりますのでこの表に合わせて追加を追記しております。
1:44:52	また、関連するということで、
1:44:55	この回答欄のそれぞれの矢羽根の末尾に、山県の括弧で、ナンバーを記していますけどもこれは、その次の 3 ページ 4 ページの
1:45:06	申し送り事項ナンバーと対応する対応して紐づけたものとなっております。
1:45:13	その他資料構成で見直した箇所としましては、
1:45:17	12 ページ以降になりますけども、
1:45:20	こちらはもともと前回試験に関するページを入れておりましたけれども、そのページは省いて追加試験結果を主に説明するように、
1:45:30	変更しております。
1:45:32	以上が、
1:45:33	ナンバー13 の指摘等適正化箇所になります。
1:45:39	ではまた、一応、
1:45:40	この資料ナンバー6 の 5 ページをお願いします。
1:45:47	今度はナンバー14 になります。
1:45:51	これちょっともう一つ訂正をさせていただきます。
1:45:55	こちら、該当ページに誤記がございまして正しくは 6 ページになります。大変失礼しました。
1:46:03	では、適正化内容を説明しますけども、こちら、資料ナンバー10-6 ページをお願いします。
1:46:16	前回ヒアリングで、
1:46:18	中期とフローの右の補足の関係性がわかりにくいというご指摘を受けましたので、今回整理し直しております。
1:46:26	具体的には、※3 は、設置率 35%に関する設定に関する地域として整理して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:35	※7を新たに追加して、誘発上下動に関する注記として整理をしております。
1:46:41	以上からNo.14に対する説明になります。
1:46:45	また、資料のNo.6に戻っていただきまして、
1:46:49	今度はナンバー15。
1:46:52	5ページのNo.15ですね、をお願いします。
1:46:57	こちらは用語の統一ということで、前回ヒアリングでご指摘いただいておりますのでこの会、負債適正化内容に記載の用語に統一をしております。
1:47:10	続いてナンバー17と18をお願いします。
1:47:17	こちらは資料No.10の方で説明します。
1:47:22	9ページをお願いします。
1:47:32	まず、17の適正化箇所ですけども、
1:47:35	(1)の赤字部分になります。
1:47:38	もともとは、トブン最後になお書きで廃棄物処理建物のモデルを用いると記載しておりましたけども、
1:47:46	前の方に持ってきましてわかりやすくしたものとなります。
1:47:50	続いてナンバー18の適正化箇所としては、(2)の赤字部分になります。
1:47:56	記号論文と比較するために基準パを行うことと、
1:48:00	応答加速度の基準化の方法について説明を追記しております。
1:48:06	以上が1078の
1:48:09	適正化内容となります。
1:48:12	また、資料ナンバー6をお願いします。
1:48:18	5ページの20、一番になります。
1:48:23	こちらパワーポイント資料の資料ナンバー10でご説明します。
1:48:28	11ページをお願いします。
1:48:36	四つ目の矢羽根になりますけども、
1:48:39	上咽頭予想付着力考慮を用いた3次元FEMモデルを採用している廃棄物処理建物と、1号機原子炉建物の工認資本ベースの最小接地率を記載しまして、
1:48:52	ともに35%を大きく上回ることを記載しております。
1:48:56	1号機原子炉建物設置数の辺りについては修正をさせていただきます。
1:49:03	以上が、ナンバー21に対する回答になります。
1:49:07	すいませんまた、資料No.6に戻っていただきまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:11	20 ナンバー22 以降は、
1:49:16	資料No.11 の補足説明資料の適正化箇所となりますけども、パワーポイントの資料と、適正化箇所が、同じ内容ですので説明は割愛しますけども、
1:49:29	28 番、6 ページの 28 番。
1:49:33	個別で説明をいたします。
1:49:37	資料No.11 の
1:49:39	28 ページを、
1:49:42	お願いします。
1:49:44	資料ナンバー、
1:49:46	はい。
1:49:47	11 をお願いしますと 48 ページです。すいません。
1:50:04	すいません失礼しました 18 ページですね。
1:50:09	こちら、
1:50:11	図の下に注記を記載しておりますけども、入力地震動が建物基礎底面レベルEL0.0 メートルで評価した地震動、
1:50:21	とするという記載を今回追加しております。
1:50:25	以上が、建物の基礎底面の付着力に関する説明になります。
1:50:32	規制庁の服部です。一通りと言いましたけれども、ちょっととりあえず、やっぱり建築後、土木側で吉浦側で分けた方がわかりやすいと思いますので、
1:50:42	とりあえず、ただいまの地震応答解析モデルと付着力の関係。
1:50:48	のパワーポイント資料、またコメント回答、適正化リストについて確認する点があればお願いしますどうぞ。
1:50:59	規制庁のハツトリですそれではまず私から
1:51:04	1 点確認をさせていただきます。
1:51:07	資料番号 10 番。
1:51:15	4 ページをお願いします。
1:51:20	この 4 ページのところの、ナンバー3 の一つ目のポツなんですけれども、
1:51:26	真ん中辺りの記載で、
1:51:29	引用している※2 の解析はという記載があります。
1:51:34	引用している※2 の解析は、では記載では文章の手をなしていませんので、
1:51:41	※2 については、例えば、回答の方の余白等について、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:47	2 辺りにでもいいですけどもどこかに※2、
1:51:51	の具体的な引用している資料の名前、
1:51:56	を記載していただきたいと考えていますがいかがでしょうかどうぞ。
1:52:02	はい。中国電力の秦です。ご指摘の通りちょっとわかりにくいことになってますので、回答欄等に
1:52:10	引用者、引用元を記載したいと思います。以上です。
1:52:15	規制庁の服部ですはい。わかりました。それでこの※2 という記載については、以前提出された申し送り事項一覧表。
1:52:25	もですね※2 という記載になっていて、
1:52:28	※2 ってなんだろうなって思ってそちらの方見たんですけども、そちらの方にも※2 が何かは書いてませんでしたので、直接このヒアリング資料と、菅
1:52:39	審査会合資料とは関係ありませんけれども、
1:52:42	そちらのほうもあわせて適正化をお願いしたいと考えていますが、よろしいでしょうかどうぞ。
1:52:49	はい。中国電力の秦です。承知いたしました。江藤。回答整理表も修正いたします。以上です。
1:52:57	規制庁の服部です。はいわかりました。それではほかに。
1:53:01	私からは以上です。それでは他に確認のある方お願いしますどうぞ。
1:53:09	規制庁の三浦です。ちょっと幾つか確認をさしてください。
1:53:14	まず、コメント整理を 6、
1:53:17	もう、
1:53:20	2 番ですか。
1:53:23	ええ。
1:53:24	これあの木曾サブの応力解析における話が今回回答として、
1:53:32	制御建屋の方に指摘事項回答整理表に移すっていうふうに記載されているんですが、
1:53:40	これはですね、私のこれ指摘事項だと思うんですが制御建屋にかかわらず、
1:53:47	他の建屋、
1:53:49	原子炉建屋もすべて含めて、どのように、
1:53:53	基礎スラブの応力解析、付着を考慮してるしてないをかかわらずですね、どのような解析をするかを、
1:54:00	ちょっと説明していただきたいというのがイドです。制御タテベに限る話ではないので、そこをちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:07	その回答整理方とはちょっと意図が違うので、
1:54:13	すべての立てについて考え方を整理して欲しいということなんです。いかがでしょう。
1:54:21	中国電力の落合ですご指摘の方承知いたしました。ここでちょっと書かせていただいたのは、全建物の基礎スラブの応力解析の条件につきましてはナンバー1の方で整理させていただこうかと思っておりました。で、
1:54:36	2番のところについては基礎スラブのところを線形にするものっていう、いうもので、具体的な適用するものとして我々が今考えているものが、制御建物でしたのでちょっとこの、
1:54:48	2番のところに圧制御+建物の計算書と耐震計算書ということで書かせていただきましたけども、全建物統一的な解析条件がどういうふうにするかっていうのは、一番の方の一覧表の方です、しっかりご説明させていただきます、
1:55:05	回答させていただこうかと考えておりますけどもいかがでしょうか。はい、わかりました。規制庁の三浦です。全建屋共通は一番の方の回答として、示していただいて、その中に、
1:55:18	もちろん制御室もその中に入ってくるんですけど、その詳細については、2番で示しますというふうに理解しましたそれでよろしいですか。
1:55:28	中国電力の落合ですまさにその通りの理解で問題ございません。以上です。はい。ではそこのところ、今後説明よろしくお願ひします。
1:55:37	それと、事務資料10のパワーポイントの3ページ。
1:55:43	の詳細設計申し送り事項の一番の部分なんですけど、
1:55:49	今回先日のコメントを踏まえて、この回答を修正していただいたんだと思うんですが、
1:55:55	ここの意味がよくわかりません。
1:55:58	回答の文章を読むと、
1:56:01	真ん中ぐらいから、廃棄物処理建屋93%で1号原子炉建屋は90、59.2%ですか、であり、
1:56:11	ともに35%を大きく上回ることから、浮き上がりに耐え、
1:56:16	伴う影響はないことを確認したて設計では考慮しませんと。
1:56:21	いう文章になってるんですが、
1:56:23	まず一つは、35%っていうのは、
1:56:27	誘発上下動の評価限界の%であって、油圧上下動を考慮しない。
1:56:34	くていい限界ではないですよ。そこちょっと整理してください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:47	中国電力の落合です。すいませんパワーポイントの方では、はですね、ちょっとここそこまでしかちょっと記載しておりませんでしたけども、少し具体的なところにつきましては、
1:56:58	資料、6番ですね、6番の回答整理表の
1:57:05	申し送り事項のナンバー4と5の回答の一番最後にですね、ちょっとなお書きで、詳細な確認結果についても各耐震計算書についてお示しますってことで、今後そこの方で、
1:57:19	を示させていただくことは考えつつも、ちょっとこの、
1:57:23	何て言うんすかね。パワーポイントの会合用の回答といたしましては、確認していうところで、こういうふうにしますという方針として少し書かさせていただいたと、というような立て付けにさせていただいております。以上です。
1:57:38	規制庁の植田ですけど、これについてはね。
1:57:43	このままだと、パワーポイントの内容がよくわからないっていうか見えませんよ。
1:57:48	まず1つんと言いたいことっていうのは、1号
1:57:53	廃棄物処理建屋は93.9、1号機原子炉建屋59.2で、ともに35%を大きく上回っているっていうのは多分一つ。
1:58:04	言いたいんだと思うんですよね。
1:58:06	次に、浮き上がりに伴う油圧上下動を考慮する考慮しないに関しては、廃棄物処理建屋は93.9で油圧上下動の影響はほとんどない。
1:58:17	いうことを言いたくて、
1:58:19	1号機原子炉建屋は、59.1なので、基本的にJ-R4601を見てみると65%。
1:58:27	以下になれば油圧状況を考慮しなければいけないの。
1:58:31	ですよ。
1:58:32	けども、例えば1号機原子炉建屋は、
1:58:35	背弧0波及的影響対象だと思うんで、誘発上下動を考慮しませんとかで、
1:58:43	ただし昨日この部分の話についても、波及的影響対象の原子炉建屋に対しては当然やらない。
1:58:50	廃棄物処理だけは、
1:58:52	接地率が大きくても念のためにやりますっていうことを言いたいんじゃないんですか。ちょっとそこを確認させてください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:06	中国電力の落合です当社側にいたことはまさにさっき言われた通りで、 のことですまずは 35%を大きく上回っているってことがまず痛くて、その うちの
1:59:17	廃棄物処理建物については、いわゆる弱とかでも、目安されてる 65 と かに比べても十分大きいも 90 何%ってということなので、もう油圧上下動 については影響ないので、そこについては、建物設計上は考慮しない と。
1:59:32	ただ、1 号の原子炉建物については少し小さいんですけどもここは波及 影響対象建物ですので、具体的な考慮しないと。で、
1:59:41	床応答スペクトルに関しては、廃棄物処理建物についてはここで書いた ように念のため、横田スペクトルにイダ上下動の影響を考慮すると、 少し正しく書くと、もちろんそういうことになりますので、ちょっとここにつ いては記載の方ですね。
1:59:54	もうちょっと修正させていただこうかと思えます。以上です。はい。今落 合さん言われたの私の理解の通りなので、ここは正確に記述をお願いします します。
2:00:04	これに関連して、
2:00:06	例えば 6 ページパーのパワーポイント資料の 6 ページとかもですね、今 回補足 2 とかいうのを加えていただいているんですけど、これんところも 整合するように、
2:00:17	修正の方をお願いします。むしろ、
2:00:19	補足 2 等の具体的な取り扱ってのはこれ一緒にして一つに変えた方 がいいような気がしますけど、いかがでしょうか。
2:00:31	中国電力の落合です。ご指摘理解いたしました補足 2 をですねちょっと 一つの扱いにしてまず方針を変えて、具体的な取り扱いについてはこう しますというような記載にちょっと、
2:00:41	さっき言ったのに直したいと思えます。で、
2:00:44	先ほど言った
2:00:48	回答整理表の方のなお書きの
2:00:51	具体的な確認結果を、
2:00:53	各耐震計算書において示しますっていうのは、ちょっと回答整理表の方 にだけさせていただいて、具体的な回答、今、パワーポイントに書いて ある補足 2 と補足 2 の具体的な取り扱いを、
2:01:03	修正したものについてはパワーポイントの方と、回答整理表の方いずれ も書かせていただくというのは伝えさせていただきたいと思えます。以

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	上です。はい。規制庁の三浦です。その扱いで結構です。よろしくお願いします。
2:01:17	それと、あと、
2:01:21	今今のページ 3 ページ、パワーポイントの 3 ページの、この申し送り事項の 2 番。
2:01:28	なのですが、
2:01:30	この詳細設計申し送り事項。
2:01:34	に記載されてる時のやりとりをちょっと見てみるとですね。
2:01:39	打ち破るがあるなしで、応答結果にどういう影響があるかを示せというような指摘があつてそれに対して、
2:01:49	今回と同じ原子炉建屋のスペクトルを出されていて、その
2:01:56	そのスペクトルを見たときに、若干の差があるんで詳細設計段階でその影響方針を説明しなさいというようなやりとりに、
2:02:06	なってるということをごちらの方で確認をしました。そうすると、今回出していた資料というのは、その審査会合でコメントを受けたときの資料がそのまま入ってきてるというふうに理解をしていて、
2:02:21	今回工認で詳細設計段階で、確認をしていることが新たな確認事項がないということになってしまうんですがその辺は、
2:02:30	事業者としてどのようにお考えなんでしょうか。
2:02:38	はい。中国電力の秦です。おっしゃる通りちょっと同じ結果を示してはいるんですけども、
2:02:45	パワーポイント資料の、
2:02:47	7 ページをお願いします。
2:02:56	こちらですね
2:02:59	設置許可段階では、原子炉建物を代表にして評価をしたわけなんですけども、
2:03:06	その時の
2:03:07	指摘を踏まえまして、付着力を考慮してないSRモデルを使ってる建物。
2:03:15	モデルを洗い出してですね、その建物の重要度だとか、
2:03:19	中に設置されている機能重要度だとか、あとは、実際野瀬サイショ清チーズを比較しまして、
2:03:28	原子炉建物が建物の重要度も、中に入っている機器の重要度も、接地率も比較的小さいということで、
2:03:38	原子炉建物を選んで比較をしていると。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:42	それで結果としては変わらないんですけども、水平応答の影響は軽微であるということで、結論付けて
2:03:53	工認段階でもご説明をさせていただいております。以上です。
2:03:58	規制庁の三浦です。今のご説明だと、その付着力ありなしの検討を行う。
2:04:06	建屋を原子炉建屋を代表としたその根拠を付加したと。
2:04:11	いうふうに私は読み取ってます。ですから、
2:04:15	直接この詳細、詳細設計の申し送り事項に対しての、
2:04:20	右下の7ページの右下のスペクトル見て、多分、審査官は、
2:04:26	視点4だったら短周期領域でちょっと出たり、あと0.
2:04:32	12秒とか3秒のところちょっと赤の方が出てたりということを感じて質問したと思うので、
2:04:39	この7ページだけだと
2:04:41	申し送り事項にやっぱり答えきれてないんじゃないですか。
2:04:54	中国電力の落合です。
2:04:58	設置許可段階の審査ではまだ、建物のモデルを書く、最終的な価格購入モデルの見込みのもので、見通しということでお示しさせていただいたのと、接地率の大小関係というものですね、
2:05:12	今の今回、元付着を考慮しない建物に関しては現状建物が一番設置率が小さくて68.9ということで、小さいと。
2:05:21	いうところの確認もまだできてない、お示しできてない段階での影響検討ということで、検討をし、設置許可段階ではしてありました。また、建物の重要度っていう観点でもですね、
2:05:34	まだ設置評価の段階では、それぞれの重要度ですとか内包する施設の重要度っていうのも、まだお示しできておりませんでしたので、そのときに、そういったところも踏まえて、工認段階で、
2:05:48	へのも色事項というふうにされていると理解しております、今回工認の中で、
2:05:56	建物の重要度や、内包する制度の重要度、あと先ほど言った最小接地率としても行った時に、原子炉建物の方が一番接地率が小さくて、付着を考慮したことによって接地率が大きく一番大きく改善する。
2:06:10	建物で検討したことによって、有効ととかの応答についても、影響がないと、軽微だということを確認し、したと、というようなご説明をさせていただいていると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:21	いうふうに認識しております。当然ちょっと結果については、設置許可のものと一緒にありますけども、ちょっと検討の位置付けとしては、そこをはっきりさせて、
2:06:31	ご説明させていただき、
2:06:34	いたというふうに考えております。以上です。
2:06:37	うん。規制庁の三浦です。
2:06:41	今落合さんが言われてることわかるんですが、
2:06:45	やはり右下のグラフを見たときにこれをサイズがあると見るか見ないこのまた一つ下によって違うだろうと思うんですけど、
2:06:52	これがもう、要するにニアリーイコールでサイトウは認められないんだっていうのを、少し補強をしていただいて、
2:07:01	回答に加えていただくようなことができないかなというふうにちょっと思います。
2:07:07	具体的にはこれ、このスペクトルがこのぐらい差異があってこれをすべてもう一度なんか全建屋について、付着ありなしをやって、
2:07:16	機器設計に盛り込めなんていう話をするつもりは全くなくて、
2:07:21	こういうふうに、ほとんどこの結果を見るとニアリーイコールだと私は思うんですよね。
2:07:26	それとあと今回、
2:07:28	10 ページで、廃棄物処理建屋、
2:07:33	これに対しても、付着ありなしの検討例えば万なかーなどグラフの真ん中下のグラフで内訳ありなしやってますよね。
2:07:42	これを見ると、
2:07:46	水平ごと、水平応答加速度全くほとんど影響を与えてないってことはこれでも確認をできているので、
2:07:53	7 ページに示された原子炉建屋の比較とか、あと、10 ページの廃棄物処理建屋でも確認してみたんだけど水平ごとにほとんど影響がなかったんだと。
2:08:03	この二つをもって、
2:08:05	2 番の先ほど言った 2 番の回答とするのがいいんじゃないかと思うんですがいかがでしょうか。
2:08:15	中国電力の落合ですご指摘よく理解いたしましたまさに言われる通りで、少し変え、申し送り事項への回答としては、少しその、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:27	ところがフォローできてないところもございますので、先ほど少しアドバイ スいただいた廃棄物処理建物で、その 09 着ありなしを比較したのもの ありますので、
2:08:38	それらも少し引用するような形で、付着にを考慮しをしてもしなくても、応 答への影響はないというところの説明を少し拡充するような形で、
2:08:49	しっかり申し送り事項に対する回答をですね充実させたい、させるような 修正にしたいと思います。以上です。はい。規制庁の三浦です。今の落 合さんお話ししていただいたように、
2:09:00	やはりこれもこのままだけでそう。
2:09:03	申し送り事項にダイレクトにやっぱりこたえ切れてないと思うので、今言 ったように廃棄物処理建屋の結果なんかもあわせて、さらなる根拠があ りましたというようなことが必要だと思えます。よろしくお願ひします。
2:09:18	中国電力の落合です承知いたしました。修正してまた資料に反映した いと思ひます。以上です。はい。私から以上です。
2:09:33	規制庁の服部です。他に確認する点ある方、お願ひします。
2:09:41	よろしいですか。
2:09:43	はい。また最後に、全体を通して確認する。
2:09:47	確認したいと思ひますので、また、今回、
2:09:53	確認をしなくて全体を通して、また確認が新たに出てきたらその時確認 していただければと思ひますのでよろしくお願ひします。
2:10:03	それでは一旦、付着力と事象と解析モデルの確認ニイツ事実確認につ いては以上としまして、次に衛藤。
2:10:14	福祉部の方の説明をしていただきたいと思ひますがよろしいでしょうか どうぞ。
2:10:19	中国電力の藤村です。そちらで問題ありません。よろしくお願ひいたしま す。
2:10:23	それでは、資料⑤の回答整理表を用いまして、
2:10:27	翌週のコメント回答についてのご説明をさせていただきます。まず資料 ⑤-1 ページから 2 ページにおきまして設置許可からの申し送り事項を おつけしております。
2:10:39	修正内容につきましては、コメント回答と同様の修正となっておりますの で、説明のほうは割愛させていただきますけれども、2 ページ目のナン バー155 のコメント、
2:10:50	であります地中構造物のモデル化。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:54	につきましては、前回のヒアリングを踏まえまして、資料⑩の論点整理のパワーポイント資料の方からは削除させていただいております。
2:11:03	回答整理表の 6 ページをお願いいたします。
2:11:11	6 ページのナンバー47 のコメントであります。設置許可からの申し送り事項、保管アクセスにおける抑止上の位置付け及び設計の全体の流れを明確にして説明すること。
2:11:24	なお、岩盤の中抜けについて設計の位置付けわかりやすいように説明することの回答内容についてご説明をさせていただきます。
2:11:32	また資料の構成に関わるコメントになりますので、資料の構成についてもあわせてご説明の方させていただきます。
2:11:39	資料⑩の論点整理の資料の 16 ページをお願いいたします。
2:11:49	資料⑩の 16 ページ。
2:11:53	におきましては、設置変更許可審査を踏まえました、詳細設計段階におけます、検討内容についてお示しをしておりますが、保管アクセスにおけます、抑止杭の位置付けを明確にするようご指摘をいただいておりますので、
2:12:09	一つ目の矢羽根に抑止杭の位置付けについて記載をしております。
2:12:14	また右下の図に、杭を通る滑りの中で安全率が最小となります、滑り面におけます安全率の方をお示ししておりますが、いちいち断面の抑止杭なしの安全率が最初の方を記載できておりませんでしたので、
2:12:29	訂正をさせていただきます。現在 1.11 と 0.95 というふうに記載をさせていただいておりますが、正しくは平均で 1.08、ばらつきで 0.90 の誤りでございましたので、
2:12:42	てそうさせていただきます。大変失礼いたしました。
2:12:46	また、許可からの申し送り事項の経緯や、設計の全体の流れを明確にするようコメントをいただいておりますので、二つ目の矢羽根におきまして、
2:12:56	も申し送り事項を踏まえた検討につきましては、設計上の考え方から、①の斜面の滑り安定性に関わる検討。
2:13:05	と、②の岩盤部の局所的な安定性に関わる検討を二つに分類して整理をしております。
2:13:12	なお前回のヒアリングを踏まえまして、杭端部の滑りと、杭のモデル化の内容を本資料から削除しております。
2:13:21	17 ページをお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:26	17 ページでは、①の斜面の滑り安定性に関わる検討としまして、杭 5 本追加による滑り安定性の向上と、杭前面におけます岩盤の肌分かれに関する申し送り事項とその回答について、概要を追記しております。
2:13:43	また回答の詳細につきましては、本資料の 19 ページと 20 ページにそれぞれ記載をしております。
2:13:50	18 ページをお願いいたします。
2:13:54	18 ページでは②の岩盤部の局所的な安定性に関わる検討といたしまして、
2:14:00	9 イヌイRevにおける水平支持力の確認。
2:14:04	と、杭間及び杭背後の岩盤の中抜けに関する申し送り事項とその回答について追記をしております。
2:14:12	またこちらの回答の詳細につきましてはそれぞれ 21 ページと、22 ページから 23 ページの方に記載をしております。
2:14:20	なおホームページのナンバー4 の一番右の該当ページの欄におきまして、現在 22 ページから 24 ページというふうに記載をさせていただいておりますが、
2:14:30	こちら誤記でございまして 22 ページから 23 ページの誤りでしたので、訂正をさせていただきます。
2:14:37	大変失礼いたしました。それでは 22 ページをお願いいたします。
2:14:46	22 ページでは、杭間及び杭背後の岩盤の中抜けの検討についてお示しをしておりますが、岩盤の中抜けにつきまして、設計の位置付けがわかりやすいように説明するようコメントをいただいておりますので、
2:15:00	右下の図にお示しておりますように杭間と杭背後の岩盤の健全性に着目した判定基準となるよう、判定基準の記載を修正しております。
2:15:13	23 ページをお願いいたします。
2:15:19	23 ページでは 3 次元静的FEM解析の結果についてお示しをしておりますが、判定基準の見直しに伴いまして、杭間及び杭背後の岩盤が健全であることから、
2:15:31	中抜現象の発生に関わる判定基準を満たすことを確認したという旨に記載を修正しております。
2:15:38	また本資料の修正に伴いまして、補足説明資料、資料⑪の該当ページにおきましても同様に修正を行っております。
2:15:48	コメント回答及び資料の構成についてのご説明につきましては以上となります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:54	規制庁の服部です。はい、それでは抑止分について、確認がある方お願いしますどうぞ。
2:16:05	規制庁の江寄です。私の方から、から、前回ご指摘いただいたことに関しては、
2:16:12	一応網羅されてですね、全体的に内容がわかりやすくなったと思います。
2:16:17	ただ1点ですね、16ページで行った時に、その時にちょっと私の方も、
2:16:22	ちょっとして間違いに対して配慮が足りなかったんでちょっと言葉足らずなっていた部分がちょっとあるかなと思っていて、
2:16:28	それが16ページの、
2:16:30	二つ目の矢羽根の②。
2:16:33	いわゆる特色的なベースケースって、安定性の検討といったところで一応、
2:16:38	低い値入れとその杭配合の部分で、一番大事だと、杭の本体、
2:16:45	ていう、この三つがあって多分①の全体安定が成立してるって形になるので、多分今、
2:16:52	詳細の説明では、杭は全然余裕があるっていう話は聞いていたんですけど、一応、杭本体も含めて、局長的なものは全部確認されてるっていう立て付けにした方が、
2:17:04	より説得性が高くなると思いますがいかがでしょうか。
2:17:10	はい中国電力のユリです。今おっしゃった通り
2:17:15	資料ナンバーの11の補足説明資料の方にはですね、今おっしゃった杭本体の耐震評価というのをやっております、
2:17:21	そちらもしっかり評価で仕切っております照査値でいうと、記憶では0.2以下だったと思いますけどもかなり余裕がありますので、そちらを踏まえまして16ページの方に、
2:17:32	杭本体の耐震評価ということで、②番の局所的なところですかね、評価を追加したいと思います。
2:17:39	以上です。規制庁、野崎です。多分ここはですね、今そういったものではなく、
2:17:45	評価されてるってことがわかるようにして、
2:17:47	いただくことと、多分17ページ以降、18ページと、
2:17:51	申し込み事項、またはそこ、それに対するコメントを書いていたんで、そこに集約した話が、それ以降進むという形で解釈しています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:02	ただ 20 ページの 2 ポツは、どちらかっていうと、全農対応見渡したまとめの位置付けになってるので、できればそこでもですねその評価、
2:18:13	文章、少なくとも文章ぐらいいは書いておく必要があるかなと。実際の細かい話は、
2:18:19	後の、なんていうんでしょう。
2:18:22	机上説明資料の中には含まれてますんで、主、さっき申しましたように申し送り事項とかちょっと今回の大きな議題には入って、
2:18:32	話題にも入ってきませんので、一応確認はしてあるってことがわかるようにしていただければいいのかなと。例えば
2:18:38	2 ポツ、次に 10 ページの 2 ポツの二つ目の矢羽根とかこの辺、
2:18:43	ところに、
2:18:45	うん。
2:18:46	却って書けば大体話が全部網羅されているのかなとは思いますが、いかがでしょうか。
2:18:53	はい。中国電力のユリです。承知いたしました杭本体の耐震評価については記載をしたいと思います。
2:19:01	少し確認なんですけども、先ほど等をご確認ありました通り 16 ページで言うんですけど、
2:19:10	大きく申し送り事項は①と②ということで整理しておりまして、先ほどのお話だと②の斜面滑り安定性が確保される前提となる局所的な安定性のところに、杭本体が関係するんじゃないかという。
2:19:26	コメントだったと思いますけども、
2:19:28	20、20 ページのところを見ていただきますと、
2:19:34	こちらが
2:19:36	斜面の滑りという意味ではどちらかというとな全体的な評価なのかなということで、20 ページの一番上ですね、2 ポツのカテゴリ分けとしては①の、
2:19:48	斜面の滑り安定性に係る検討ということで、カテゴリズしてありますので、
2:19:53	杭本体の耐震評価が①②のどちらに当たるかというものもこちらで持ち帰って検討させていただきましてちょっと記載場所を考えてございました。おっしゃることはわかりました。
2:20:05	私の言った言う言ったような話になると 21 ページと 22 ページとか、こっちの方に、のカテゴリーが入っちゃうってことですねおっしゃる通りそういうふうに分類されてますから、それは理解しましたそれは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:18	必ずしもこだわるものではないので、
2:20:20	それしか国も検討済みだということがわかるように、書いていただければ結構です。それは、
2:20:27	そちらの方で、また適切な場所に記載していただければ結構です。私からは以上です。
2:20:34	はい。中国電力EBS承知いたしました。
2:20:44	規制庁の服部です。
2:20:46	他に、よく支部について確認する点がある方をお願いします。
2:20:58	1チギラです。すみません。1点だけ、ちょっと17ページ、⑩の資料の17ページ。
2:21:07	申し送り事項の回答のところのですね、ナンバー1なんですけど、ここの申し送り事項。
2:21:16	の内容とですね、⑤の資料の
2:21:20	回答整理表の、
2:21:23	許可時からの申し送り事項の149番。
2:21:27	今回、
2:21:29	⑩の資料では149と150を一緒にしているんですけど、
2:21:35	それでちょっと
2:21:39	⑩の申し送り事項。
2:21:44	のところだと、
2:21:48	中抜けとかってというのは、次の1のところではあるのでそこで見ると、地盤、地盤の不確かさですね、状況がスタート数とかってというのがあって、
2:22:00	あの会合の中で言っていたのは、今十分に余裕のある設計にすると、それは許可中にそういう方針を示してくださいってということで今回工認の中で、
2:22:12	10、余裕、さらに良いというなる設計ということを確認されているということで、この何となくですね⑩の資料の17番の、
2:22:23	申し送り事項のところってというのがこちら
2:22:27	具体的にその滑り安全率をさらに向上させることってというのがですね、
2:22:32	そういうことも検討してくださいねっていう話だったんですけど
2:22:38	ちょっとニュアンスが違うかなっていう印象を受けておりますので、ちょっとその申し送り回答整理表ですね申し送り事項と、ちょっとその辺もう少しですねすり合うような形で、
2:22:54	ちょっと検討いただければと思うんですけど、いかがでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:00	はい。中国電力李です。今のちょっとご確認の内容をちょっと確認させていただきたいんですけども、
2:23:10	うん。
2:23:11	資料中⑩のですねパワーポイント資料の申し送り事項No. 1ですと、
2:23:17	申し送り事項の内容が滑り安全率の向上ということでかなりマクロによったようなコンビ内容になっておりますので、
2:23:27	もう少し包括的に余裕のある設計とするために中抜だったり滑り安全率の向上だったり、そういったところを検討することというふうな、
2:23:37	申し送り事項にした方がいいんじゃないかとそういうコメントでしょうか。
2:23:41	はい、規制庁テライズ、介護の中ではそういう趣旨で言ってるかなと思いますので、今、ユリさんおっしゃられたような形でですねちょっと検討いただければというふうに思います。
2:23:55	はい。中国電力ユリです。承知いたしました。そのように⑩の資料ですね申し送り事項の中身も含めまして修正したいと思います。以上です。
2:24:07	規制庁だけちょっと事実確認ですけども、設置許可の段階、ちょ、
2:24:12	許可の段階では、多分、
2:24:15	17ページの左下の図のところで今、5本追加されていたところに基本的には、ちょっと足りないような話があって、
2:24:25	伊達津波委員がこれで適切なのかという、十分なのかということと、先ほどからできてる中抜けの話。
2:24:34	大きく言うところの二つ。
2:24:36	が関与して
2:24:38	安全性をに配慮した設計とすることってというような内容だったと思うんです。
2:24:44	それで、
2:24:47	そちらの方記憶違いはないということでよろしいでしょうか。
2:24:52	はい。中国電力鹿島です。今おっしゃられた通りの二つの論点は大きく二つにあると思ひまして、中抜けの検討、特に杭間が空いてるところがですね妥当かどうかというところが
2:25:04	不確かさの一つとしてもあったので、先ほどチギラさんもおっしゃったようにダイレクトにまず安全率の向上というのが目的ではなくそういったところもカバーできる設計方針というところが今回の回答の趣旨だと思いますので、
2:25:17	ちょっと修文の方ですね一応7ページさしていただきたいと思います。
2:25:32	規制庁の服部です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:33	他によく支部について確認する点がある方お願いします。
2:25:40	よろしいでしょうか。
2:25:42	よろしいですか。
2:25:44	はい。
2:25:45	それでは今一度、全体を通して先ほどの、
2:25:51	事象と解析モデルと付着力よく含めて、
2:25:56	確認し忘れたものがあれば、確認していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
2:26:05	よろしいですか。
2:26:09	はい。
2:26:10	では特にないようですので、
2:26:12	今、少し
2:26:17	おそらく記載の適正化レベルの話かなとは思いますが、適正化できると思っていますけれども、審査会合までに、
2:26:28	きちんと対応していただけるということでよろしいでしょうかどうぞ。
2:26:34	はい、中国電力の鹿島です。先ほどいただいた指摘を踏まえてですね早急に資料の方修正の上、また再度ご提出させていただきたいと思えます。以上です。
2:26:44	規制庁の服部ですはい。わかりました。それでは適切に対応した上で再来週ですかね、審査会合に、の資料として提出いただいて、
2:26:55	審査会合に臨んでいただきたいと思えますのでよろしくをお願いします。
2:27:00	特になければ、審査会合の使用に関するヒアリングについてはこれまでにしたいと思えますが、
2:27:06	よろサイドよろしいでしょうか。
2:27:09	はい。
2:27:10	何もないようですので本日のヒアリングを終了いたします。どうもありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。